

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	一般教養 I
実務家教員	
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	一般教養として、社会で求められる漢字の知識を学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定 3 級合格を目標とする
教科書	問題集、プリント、模擬試験
特記	
授業計画	1 訓読み・送り仮名 2 熟語① 3 熟語② 4 異字同訓・同音異義 5 誤字訂正 6 項目別模擬試験① 7 項目別模擬試験② 8 項目別模擬試験③ 9 項目別模擬試験④ 10 項目別模擬試験⑤ 11 直前模擬試験① 12 直前模擬試験② 13 直前模擬試験③ 14 直前模擬試験④ 15 直前模擬試験⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																														
授業科目	キャリアデザインⅠ																														
実務家教員																															
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科																														
履修年次	1年次																														
開講学期	後期																														
科目区分	必修																														
授業方法	演習																														
授業時間	30時間																														
授業コマ数	15コマ																														
授業概要	面接試験で求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ																														
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する																														
達成目標	面接時の入退室及び自己PRを習得する																														
教科書	オリジナルテキスト																														
特記																															
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>面接の基本</td></tr> <tr><td>2</td><td>入退室の仕方</td></tr> <tr><td>3</td><td>スーツの着こなし、身嗜み確認</td></tr> <tr><td>4</td><td>自己PR作成①</td></tr> <tr><td>5</td><td>自己PR作成②</td></tr> <tr><td>6</td><td>自己PR作成③</td></tr> <tr><td>7</td><td>面接質問項目①</td></tr> <tr><td>8</td><td>面接質問項目②</td></tr> <tr><td>9</td><td>面接質問項目③</td></tr> <tr><td>10</td><td>業界研究①</td></tr> <tr><td>11</td><td>業界研究②</td></tr> <tr><td>12</td><td>模擬面接練習①</td></tr> <tr><td>13</td><td>模擬面接練習②</td></tr> <tr><td>14</td><td>面接効果測定①</td></tr> <tr><td>15</td><td>面接効果測定②</td></tr> </table>	1	面接の基本	2	入退室の仕方	3	スーツの着こなし、身嗜み確認	4	自己PR作成①	5	自己PR作成②	6	自己PR作成③	7	面接質問項目①	8	面接質問項目②	9	面接質問項目③	10	業界研究①	11	業界研究②	12	模擬面接練習①	13	模擬面接練習②	14	面接効果測定①	15	面接効果測定②
1	面接の基本																														
2	入退室の仕方																														
3	スーツの着こなし、身嗜み確認																														
4	自己PR作成①																														
5	自己PR作成②																														
6	自己PR作成③																														
7	面接質問項目①																														
8	面接質問項目②																														
9	面接質問項目③																														
10	業界研究①																														
11	業界研究②																														
12	模擬面接練習①																														
13	模擬面接練習②																														
14	面接効果測定①																														
15	面接効果測定②																														
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価																														
備考																															

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	コミュニケーション概論
実務家教員	
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	必修
授業方法	演習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	自己分析、自己 P R の作成を通じての対人コミュニケーションを学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	自己分析、自己 P R の完成及び発表を目標とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 自己 P R の見直し 2 自己分析の方法・注意点 3 自己分析① 4 自己分析② 5 自己分析③ 6 自己 P R の作り方 7 自己 P R の作成① 8 自己 P R の作成② 9 自己 P R の作成③ 10 自己 P R の作成④ 11 自己 P R の作成⑤ 12 自己 P R の修正① 13 自己 P R の修正② 14 自己 P R 発表（効果測定①） 15 自己 P R 発表（効果測定②）
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	エアロビクス I
実務家教員	○
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	1 年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	6 0 時間
授業コマ数	3 0 コマ
授業概要	エアロビックダンスの特性・効果を理解し、構成する各種運動や動作を学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	各種テキストのエアロビクス範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（実）
特記	フィットネスクラブ等でエアロビクスエクササイズの指導経験を持つ教員が経験を活かし、エアロビックダンスの知識および各種運動動作等の教育を行う。
授業計画	1 エアロビックダンスの歴史、特性と効果 2 有酸素性運動の基礎知識 3 エアロビックダンス（ローインパクトのエアロビックダンス体験） 4 エアロビックダンス（ロー・ハイインパクトのエアロビックダンス体験） 5 エアロビックダンス（8 ビートの理解） 6 エアロビックダンス（各ステップの特徴と注意点①） 7 エアロビックダンス（各ステップの特徴と注意点②） 8 中間考査① 9 エアロビックダンス（正しい姿勢と見本①） 10 エアロビックダンス（正しい姿勢と見本②） 11 エアロビックダンス（正しい姿勢と見本③） 12 エアロビックダンス（運動強度①） 13 エアロビックダンス（運動強度②） 14 期末考査対策① 15 期末考査① 16 エアロビックダンス（上肢①） 17 エアロビックダンス（上肢②） 18 エアロビックダンス（全身①） 19 エアロビックダンス（全身②） 20 エアロビックダンス（カウントに合わせたステップ、正しい動き①） 21 エアロビックダンス（カウントに合わせたステップ、正しい動き②） 22 エアロビックダンス（カウントに合わせたステップ、正しい動き③） 23 中間考査② 24 エアロビックダンス（安全で効果的な楽しいレッスン①） 25 エアロビックダンス（安全で効果的な楽しいレッスン②） 26 エアロビックダンス（プログラミング①） 27 エアロビックダンス（プログラミング②） 28 期末考査対策② 29 期末考査② 30 解説
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	水中運動 I
実務家教員	○
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	1 年次
開講学期	通年
科目区分	必修
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	6 0 時間
授業コマ数	3 0 コマ
授業概要	水の特性を理解し、水中運動を構成する各種運動・動作を学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	健康運動実践指導者養成用テキストの水泳・水中運動範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	フィットネスクラブ等でアクアエクササイズやスイミングの指導経験を持つ教員が経験を活かし、水中運動に関する知識と運動動作の教育を行う。
授業計画	1 水泳や水中運動の効果・特性、心拍数と運動強度、安全管理 2 水泳（浮身・ストリームラインの取り方、安全対策） 3 水泳（4 泳法の基本的動作の習得①） 4 水泳（4 泳法の基本的動作の習得②） 5 水泳（4 泳法の基本的動作の習得③） 6 水泳（4 泳法の基本的動作の習得④） 7 水泳（4 泳法の基本的動作の習得⑤） 8 中間考査① 9 水泳（4 泳法の基本的動作の習得①） 10 水泳（4 泳法の基本的動作の習得②） 11 水泳（4 泳法の基本的動作の習得③） 12 水泳（4 泳法の指導法①） 13 水泳（4 泳法の指導法②） 14 期末考査対策① 15 期末考査① 16 アクアエクササイズの基本の動き、アクアエクササイズの歴史と特性・効果 17 水中運動（水中ウォーキングの種類と基本動作） 18 水中運動（水中ウォーキングの運動強度） 19 水中運動（水中ウォーキングの脚・手の動き） 20 水中運動（水中ウォーキングのプログラミング①） 21 水中運動（水中ウォーキングのプログラミング②） 22 水中運動（水中ウォーキングの指導法①） 23 中間考査② 24 水中運動（水中ウォーキングの指導法②） 25 水中運動（水中ウォーキングの指導法③） 26 水中運動（水中ウォーキングの指導法④） 27 水中運動（水中ウォーキングの指導法⑤） 28 期末考査対策② 29 期末考査② 30 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツキャリアデザインⅠ
実務家教員	
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義・演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	就職活動の筆記試験対策として一般常識問題の対策と傾向を学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	就職模擬試験で全国平均点以上を目標とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 筆記試験対策（国語①） 2 筆記試験対策（国語②） 3 筆記試験対策（国語③） 4 筆記試験対策（国語④） 5 筆記試験対策（国語⑤） 6 筆記試験対策（数学①） 7 筆記試験対策（数学②） 8 筆記試験対策（数学③） 9 筆記試験対策（数学④） 10 筆記試験対策（数学⑤） 11 筆記試験対策（英語①） 12 筆記試験対策（英語②） 13 筆記試験対策（英語③） 14 筆記試験対策（社会①） 15 筆記試験対策（社会②）
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツキャリアデザインⅡ
実務家教員	
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義・演習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	就職活動の筆記試験対策として S P I 試験の傾向を学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	マイナビ W e b 模擬試験で全国平均点以上を目標とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 筆記試験対策（言語①） 2 筆記試験対策（言語②） 3 筆記試験対策（言語③） 4 筆記試験対策（言語④） 5 筆記試験対策（言語⑤） 6 筆記試験対策（非言語①） 7 筆記試験対策（非言語②） 8 筆記試験対策（非言語③） 9 筆記試験対策（非言語④） 10 筆記試験対策（非言語⑤） 11 筆記試験対策（非言語⑥） 12 筆記試験対策（非言語⑦） 13 筆記試験対策（非言語⑧） 14 筆記試験対策（非言語⑨） 15 筆記試験対策（非言語⑩）
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツキャリアデザインⅢ
実務家教員	
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義・演習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	本番を想定した面接練習を行い、対応力を学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	様々な面接で対応できる技術を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 集団面接の基本 2 集団面接練習① 3 集団面接練習② 4 効果測定① 5 集団討論の基本 6 集団討論練習① 7 集団討論練習② 8 効果測定② 9 個人面接の基本 10 個人面接練習① 11 個人面接練習② 12 効果測定③ 13 書類送付方法 14 ビジネス電話 15 ビジネスメール
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツ栄養学
実務家教員	○
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	1 年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	6 0 時間
授業コマ数	3 0 コマ
授業概要	身体活動・運動に対する各栄養素の役割及び活動中のエネルギー代謝を学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	健康運動実践指導者、J A T I の試験に必要な栄養学範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（理）
特記	アスリートや特定保健指導の対象者等への、食事計画の立案や栄養指導等の実務経験を持つ教員が経験を活かし、栄養に関する知識および食事指導等の教育を行う。
授業計画	1 五大栄養素の役割① 2 五大栄養素の役割② 3 五大栄養素の役割③ 4 五大栄養素の役割④ 5 食物の消化吸収 6 食物選択のためのガイド・食品群 7 中間考査① 8 日本人の食事摂取基準 9 食事バランスガイド 10 エネルギー代謝① 11 エネルギー代謝② 12 水分摂取のガイドライン 13 アスリートの競技特性と栄養摂取のガイドライン 14 トレーニングスケジュールと食事 15 期末考査① 16 トレーニングや試合時の栄養① 17 トレーニングや試合時の栄養② 18 減量時の栄養管理① 19 減量時の栄養管理② 20 増量時の栄養管理① 21 増量時の栄養管理② 22 中間考査② 23 貧血に対する栄養管理 24 女性・子供・高齢者に対する栄養管理 25 摂食障害の予防 26 体作りと栄養・食生活 27 海外遠征時の栄養管理 28 健康日本21の栄養・食生活分野の目標、食生活指針 29 期末考査② 30 解説、サプリメントの摂取方法
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	解剖学 I
実務家教員	○
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	1 年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	6 0 時間
授業コマ数	3 0 コマ
授業概要	運動器の骨、筋、靱帯、関節の機能を学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	整形外科的範囲内の機能解剖学の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（理）、ボディナビゲーション
特記	鍼灸院や整骨院等で運動機能障害を持つ患者に治療やリハビリテーション等の施術経験を持つ教員が経験を活かし、身体のあらゆる機能について教育を行う。
授業計画	1 上肢（骨①） 2 上肢（骨②） 3 上肢（関節①） 4 上肢（関節②） 5 上肢（筋肉①） 6 上肢（筋肉②） 7 中間考査対策① 8 中間考査① 9 脊柱の基本構造 10 脊柱と胸郭（骨①） 11 脊柱と胸郭（骨②） 12 脊柱と胸郭（関節①） 13 脊柱と胸郭（関節②） 14 期末考査対策① 15 期末考査① 16 関節の運動を表わす用語 17 下肢（骨①） 18 下肢（骨②） 19 下肢（関節①） 20 下肢（関節②） 21 下肢（関節③） 22 中間考査対策② 23 中間考査② 24 下肢（筋肉①） 25 下肢（筋肉②） 26 下肢（筋肉③） 27 下肢のまとめ 28 上肢、脊柱と胸郭のまとめ 29 期末考査対策② 30 期末考査②
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	救急処置
実務家教員	○
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	1 年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義・実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	6 0 時間
授業コマ数	3 0 コマ
授業概要	運動実施中に発生しうる救急疾病や外科的損傷の病態を学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	健康運動実践指導者、J A T I の試験に必要な救急処置範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（理）、ボディナビゲーション
特記	鍼灸院や整骨院等で運動機能障害を持つ患者に治療やリハビリテーション等の施術経験を持つ教員が経験を活かし、身体のアラゆる機能について教育を行う。
授業計画	1 救急処置法① 2 救急処置法② 3 救急処置法③ 4 テーピング総論 5 テーピング（足関節①） 6 テーピング（足関節②） 7 テーピング（足関節③） 8 テーピング（足関節④） 9 中間考査（筆記） 10 中間考査（実技①） 11 テーピング（膝関節①） 12 テーピング（膝関節②） 13 テーピング（膝関節③） 14 テーピング（膝関節④） 15 テーピング（膝関節⑤） 16 テーピング（下腿①） 17 テーピング（下腿②） 18 期末考査（実技①） 19 マッサージ（下肢①） 20 マッサージ（下肢②） 21 マッサージ（下肢③） 22 マッサージ（下肢④） 23 中間考査（実技②） 24 マッサージ（上肢①） 25 マッサージ（上肢②） 26 マッサージ（上肢③） 27 マッサージ（上肢④） 28 マッサージ（上肢⑤） 29 マッサージ（全身） 30 期末考査（実技②）
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーニング実践 I
実務家教員	○
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	1 年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	6 0 時間
授業コマ数	3 0 コマ
授業概要	目的に応じたトレーニング方法と効果を学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	健康運動実践指導者、J A T I の試験に必要なトレーニング学範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（実）
特記	
授業計画	- 健康づくりとレジスタンスエクササイズ、レジスタンス運動の分類 - アイソトニックトレーニングの実際① - アイソトニックトレーニングの実際② - アイソメトリックトレーニングの実際 - サーキットトレーニング - レジスタンストレーニングの効果 - レジスタンストレーニングのプログラムの条件設定① - レジスタンストレーニングのプログラムの条件設定② - 中間考査① - レジスタンストレーニングの実技と指導法① - レジスタンストレーニングの実技と指導法② - レジスタンストレーニングの実技と指導法③ - レジスタンストレーニングの実技と指導法④ - 期末考査① - パワー向上トレーニング理論とプログラムの作成① - パワー向上トレーニング理論とプログラムの作成② - パワー向上トレーニング理論とプログラムの作成③ - パワー向上トレーニング理論とプログラムの作成④ - パワー向上トレーニングの実技と指導法①（パワークリーン） - パワー向上トレーニングの実技と指導法②（ダンベルパワークリーン） - パワー向上トレーニングの実技と指導法③（スナッチ） - パワー向上トレーニングの実技と指導法④（ジャーク、S Q ジャンプ） - 中間考査② - パワー向上トレーニングの実技と指導法（プライオメトリクス①） - パワー向上トレーニングの実技と指導法（プライオメトリクス②） - パワー向上トレーニングの実技と指導法（プライオメトリクス③） - パワー向上トレーニングの実技と指導法（プライオメトリクス④） - パワー向上トレーニングの実技と指導法（プライオメトリクス⑤） - 期末考査② - 解説
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	運動生理学 I
実務家教員	○
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	1 年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	6 0 時間
授業コマ数	3 0 コマ
授業概要	運動の発現の仕組み、発現に対しての筋の役割、呼吸循環系を学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	健康運動実践指導者、J A T I の試験に必要な運動生理学範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（理）
特記	
授業計画	1 運動の発現 2 骨格筋収縮の仕組みとエネルギー供給機構① 3 骨格筋収縮の仕組みとエネルギー供給機構② 4 筋線維タイプと収縮特性、運動と筋線維タイプ 5 筋収縮の様式と筋力、トレーニングと骨格筋 6 中間考査対策① 7 中間考査① 8 運動の持続と呼吸循環系① 9 運動の持続と呼吸循環系② 10 呼吸循環系の機能の指標と調節機構 11 運動に伴う呼吸循環機能の変化 12 運動時の酸素利用① 13 運動時の酸素利用② 14 期末考査対策① 15 期末考査① 16 トレーニングによる呼吸循環系の適応 17 運動と血液・体液 18 成長期における体力・基本的動作スキルの発達 19 成人以降の加齢に伴う体力・運動能力の低下、体力に及ぼす先天的要因と後天的要因 20 中間考査対策② 21 中間考査② 22 呼吸循環系の基礎的情報① 23 呼吸循環系の基礎的情報② 24 運動と呼吸循環系① 25 運動と呼吸循環系② 26 トレーニングと呼吸循環系① 27 トレーニングと呼吸循環系② 28 期末考査対策② 29 期末考査② 30 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツ心理学 I
実務家教員	○
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	運動実践が心身に与える影響、個別指導における動機づけとカウンセリングの方法を学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	健康運動実践指導者の試験に必要な心理学的基礎の範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	1 運動実践にかかわる社会・心理・環境的要因 2 運動実践によって得られる心理社会的効果の内容とその効果を高める要因 3 運動を採択、継続、および停止を予防するために適用されている行動への理論① 4 運動を採択、継続、および停止を予防するために適用されている行動への理論② 5 募集に際して要因を明確にし、多くの参加者を得るための留意点 6 中間考査対策 7 中間考査 8 指導と受講のミスマッチと解決方法 9 個別指導における動機づけとカウンセリングの方法① 10 個別指導における動機づけとカウンセリングの方法② 11 総まとめ 12 問題演習① 13 問題演習② 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	発育発達論
実務家教員	○
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	1 年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	6 0 時間
授業コマ数	3 0 コマ
授業概要	体力と発育・発達と老化の関係について学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	健康運動実践指導者、J A T I の試験に必要な発育発達範囲の知識を習得する
教科書	子どもの発育・発達と健康、トレーニング指導者テキスト（理）
特記	
授業計画	1 イントロダクション 2 発育発達研究の基礎 3 出産と新生児 4 乳幼児の運動能力の発達① 5 乳幼児の運動能力の発達② 6 幼児の運動能力① 7 中間考査① 8 幼児の運動能力② 9 体力の構造と測定① 10 体力の構造と測定② 11 形態の発育① 12 形態の発育② 13 期末考査対策① 14 期末考査① 15 機能の発達① 16 機能の発達② 17 機能の発達③ 18 運動能力構造の変化① 19 運動能力構造の変化② 20 身体発達に影響する要因と問題 21 中間考査② 22 生活習慣病 23 現代の健康問題① 24 現代の健康問題② 25 老化① 26 老化② 27 総まとめ① 28 総まとめ② 29 期末考査対策② 30 期末考査②
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツ社会学
実務家教員	○
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	社会生活とスポーツの関連性を学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	生涯スポーツの知識を習得する
教科書	生涯スポーツ実践論
特記	
授業計画	1 数字で見る日本のスポーツ 2 生涯スポーツ社会を目指して① 3 生涯スポーツ社会を目指して② 4 生涯スポーツとヘルスプロモーション 5 地域社会と生涯スポーツイベント 6 生涯スポーツ指導者とボランティア① 7 中間考査 8 生涯スポーツ指導者とボランティア② 9 高齢者のスポーツ参加 10 障がい者のスポーツ参加 11 生涯スポーツとニュースポーツ 12 スポーツクラブの現状と課題 13 スポーツクラブの運営 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	グループエクササイズ
実務家教員	○
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	1 年次
開講学期	通年
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	6 0 時間
授業コマ数	3 0 コマ
授業概要	フィットネスインストラクターとして必要な基礎知識について学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	J A F A - G F I 共通筆記資格試験合格を目標とする
教科書	フィットネス基礎理論、グループエクササイズ指導理論
特記	
授業計画	1 イントロダクション 2 フィットネス概論 3 運動器の基礎解剖学① 4 運動器の基礎解剖学② 5 運動器の基礎解剖学③ 6 運動生理学① 7 運動生理学② 8 運動生理学③ 9 中間考査対策① 10 中間考査① 11 体力学・トレーニング科学・運動処方① 12 体力学・トレーニング科学・運動処方② 13 体力学・トレーニング科学・運動処方③ 14 運動と栄養・体重管理① 15 運動と栄養・体重管理② 16 心と心理 17 運動と安全管理、事故・傷害の予防 18 期末考査① 19 グループエクササイズ① 20 グループエクササイズ② 21 グループエクササイズ③ 22 グループエクササイズ④ 23 中間考査対策② 24 中間考査② 25 対策問題演習① 26 対策問題演習② 27 対策問題演習③ 28 対策問題演習④ 29 対策問題演習⑤ 30 期末考査②
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	レジスタンスエクササイズ
実務家教員	○
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義・実習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	自重トレーニングのグループレッスンに必要な知識と実技スキルを学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	J A F A－G F I R E I 資格試験合格を目標とする
教科書	レジスタンスエクササイズ指導理論
特記	
授業計画	1 骨格筋の機能解剖学（筆記） 2 レジスタンスエクササイズの基本の動き（筆記） 3 レジスタンスエクササイズの基本の動き（実技①） 4 レジスタンスエクササイズの基本の動き（実技②） 5 レジスタンスエクササイズの基本の動き（実技③） 6 中間考査（実技） 7 骨格筋の解剖生理学（筆記） 8 レジスタンスエクササイズの基礎知識（筆記①） 9 レジスタンスエクササイズの基礎知識（筆記②） 10 レジスタンスエクササイズのインストラクション（実技①） 11 レジスタンスエクササイズのインストラクション（実技②） 12 レジスタンスエクササイズのインストラクション（実技③） 13 レジスタンスエクササイズのインストラクション（実技④） 14 期末考査（筆記） 15 期末考査（実技）
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ストレッチングエクササイズ
実務家教員	○
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義・実習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	ストレッチングのグループレッスンに必要な知識と実技スキルを学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	J A F A－G F I S E I 資格試験合格を目標とする
教科書	ストレッチングエクササイズ指導理論
特記	
授業計画	1 ストレッチング（実技①） 2 ストレッチング（実技②） 3 ストレッチングエクササイズの基本の動き（筆記） 4 ストレッチングエクササイズの基本の動き（実技①） 5 ストレッチングエクササイズの基本の動き（実技②） 6 中間考査（実技） 7 骨格筋の解剖生理学（筆記） 8 ストレッチングエクササイズの基礎知識（筆記①） 9 ストレッチングエクササイズの基礎知識（筆記②） 10 ストレッチングエクササイズのインストラクション（実技①） 11 ストレッチングエクササイズのインストラクション（実技②） 12 ストレッチングエクササイズのインストラクション（実技③） 13 ストレッチングエクササイズのインストラクション（実技④） 14 期末考査（筆記） 15 期末考査（実技）
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ダイビング実習
実務家教員	○
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	ダイビングの基礎的な知識や技術を実習を通じて学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	P A D I オープン・ウォーター・ダイバー資格試験合格を目標とする
教科書	オープンウォーターダイバーマニュアル
特記	
授業計画	1 ダイバーに必要な基礎知識（水圧と空気の体積の影響） 2 ダイバーに必要な基礎知識（水中でのものの見え方・音の聞こえ方） 3 ダイバーに必要な基礎知識（ダイビングの環境） 4 ダイバーに必要な基礎知識（ダイビングと健康管理） 5 トラブルの管理 6 器材について（選び方と手入れ） 7 器材について（ウェット／ドライスーツ・水面シグナル器材） 8 基礎知識と器材についての復習 9 ダイバーとしてのスキル（スクーバキットのセッティング） 10 ダイバーとしてのスキル（マスククリア・マスク脱着） 11 ダイバーとしてのスキル（中性浮力） 12 ダイバーとしてのスキル（潜降と浮上・ハンドシグナル） 13 ダイバーとしてのスキル（緊急時の対処法） 14 ダイブコンピューターとテーブルの使い方 15 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	キャンプ実習
実務家教員	○
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	キャンプインストラクターの基礎的な知識や技術を実習を通じて学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	キャンプインストラクター資格試験合格を目標とする
教科書	キャンプ指導者入門
特記	
授業計画	1 キャンプの特性（キャンプの意義と目的） 2 キャンプの特性（キャンプのルールとマナー） 3 キャンプの特性（キャンプと環境教育） 4 キャンプの対象（人間の心身の理解） 5 キャンプの対象（自然環境の理解） 6 キャンプの指導（キャンプインストラクターの資質と役割） 7 キャンプの指導（指導者のためのコミュニケーションスキル） 8 キャンプの安全についての危険予知とその対処 9 キャンプの基本装備（個人装備と団体装備） 10 キャンプに必要な生活技術（テント設営） 11 キャンプに必要な生活技術（アウトドアクッキング） 12 キャンプに必要な生活技術（ロープワーク） 13 キャンプで行う4つのアクティビティ 14 実技試験① 15 実技試験②
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スキー基礎技術論
実務家教員	○
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	スキーの基礎的な知識や技術を実習を通じて学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	バッジテスト 5 級以上の合格を目標とする
教科書	なし
特記	
授業計画	1 スキーの現状 2 器具の選び方、セッティングと着用方法 3 基本姿勢（ボーゲン）と開脚歩行 4 停止と安全な転び方 5 スキーにおける身体の使い方 6 プルークボーゲンでの滑走（基礎） 7 プルークボーゲンでの滑走（応用） 8 ターン基礎（緩斜面でのパラレルターン） 9 ターン基礎（緩斜面でのシュテムターン） 10 ターン応用（中斜面でのパラレルターン） 11 ターン応用（中斜面でのシュテムターン） 12 ターン応用（中急斜面でのパラレルターン） 13 スキーヤーとしてのルールとマナー 14 実技試験① 15 実技試験②
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スノーボード基礎技術論
実務家教員	○
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	スノーボードの基礎的な知識や技術を実習を通じて学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	バッジテスト 5 級以上の合格を目標とする
教科書	なし
特記	
授業計画	- スノーボードの現状 - セッティングと着用方法、スタンスの確認 - 基本姿勢 - 体重のかけ方 - 安全な転び方 - スケーティング基礎 - スケーティングでの方向転換 - ターンにおける身体の使い方（上半身・下半身） - ターン基礎（緩斜面での停止・連続ターン） - ターン基礎（緩斜面でのロングターン・ミドルターン） - ターン応用（中斜面でのショートターン・カービングターンロング） - ターン応用（中斜面でのカービングターンショート・ベーシックカーブロング） - スノーボーダーにおけるルールとマナー - 実技試験① - 実技試験②
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーニング理論
実務家教員	○
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	トレーニング機器の特性や機能を理解し、トレーニングプログラムの知識を学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	目的に応じたトレーニングメニューの作成方法を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	1 有酸素性運動（プログラミング） 2 有酸素性運動（プログラムの進行） 3 有酸素性運動（機器を用いない有酸素性運動の指導上の留意点） 4 有酸素性運動（有酸素性運動の選択と指導上の留意点） 5 レジスタンス運動（安全性と効果） 6 レジスタンス運動（負荷設定法、負荷強度、反復回数） 7 レジスタンス運動（レジスタンス運動の種類） 8 レジスタンス運動（レジスタンス運動の方法） 9 ケーススタディによるプログラム作成① 10 ケーススタディによるプログラム作成② 11 ケーススタディによるプログラム作成③ 12 ケーススタディによるプログラム作成④ 13 ケーススタディによるプログラム作成⑤ 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーニング実践Ⅱ
実務家教員	○
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	運動指導者に必要な筋力トレーニングの方法を学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	健康運動実践指導者養成用テキスト記載のトレーニング方法の技術を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス（レジスタンス運動の分類、アイソトニックトレーニングの実際） 2 フリーウエイトトレーニング① 3 フリーウエイトトレーニング② 4 フリーウエイトトレーニング③ 5 アイソメトリックトレーニング① 6 アイソメトリックトレーニング② 7 アイソメトリックトレーニング③ 8 自重や身近な用具を使ったトレーニング① 9 自重や身近な用具を使ったトレーニング② 10 自重や身近な用具を使ったトレーニング③ 11 サーキットトレーニング 12 レジスタンストレーニングプログラミングの基礎① 13 レジスタンストレーニングプログラミングの基礎② 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーニング実践Ⅲ
実務家教員	○
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	パーソナルトレーニングを行う運動指導者に必要なトレーニングスキル・テクニックを学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	トレーニング指導に必要なスキル（ペアストレッチ、トレーニング補助法）を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス（マンツーマン指導とグループ指導の違いについて） 2 パーソナルトレーニングの補助テクニック① 3 パーソナルトレーニングの補助テクニック② 4 パーソナルトレーニングの補助テクニック③ 5 パーソナルストレッチ基礎① 6 パーソナルストレッチ基礎② 7 パーソナルストレッチ基礎③ 8 自体重トレーニングの補助法・負荷法① 9 自体重トレーニングの補助法・負荷法② 10 自体重トレーニングの補助法・負荷法③ 11 ウォームアップとクールダウン 12 パーソナルトレーニングのプログラミング基礎 13 パーソナルトレーニングのプログラミング応用 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーニング実践Ⅳ
実務家教員	○
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	運動指導者に必要なトレーニングルームの管理、運営、指導方法を実践を通じて学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	健康運動実践指導者養成用テキスト記載のトレーニング方法の技術を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス（トレーニングルームの特徴、マシン指導法、補助法） 2 フリーウエイトトレーニング指導・補助法① 3 フリーウエイトトレーニング指導・補助法② 4 フリーウエイトトレーニング指導・補助法③ 5 アイソメトリックトレーニング指導・補助法① 6 アイソメトリックトレーニング指導・補助法② 7 アイソメトリックトレーニング指導・補助法③ 8 自重や身近な用具を使ったトレーニング指導・補助法① 9 自重や身近な用具を使ったトレーニング指導・補助法② 10 サーキットトレーニング指導・補助法① 11 サーキットトレーニング指導・補助法② 12 レジスタンストレーニングのプログラミング指導・補助法① 13 レジスタンストレーニングのプログラミング指導・補助法② 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	リハビリテーションⅠ
実務家教員	○
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	評価方法と評価法を活用したアスリハプログラムの作成方法について学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	基本的なアスリハプログラムを理解し、作成方法を習得する
教科書	トレーニング指導者テキスト（実）
特記	
授業計画	1 アスレティックリハビリテーション概論 2 アスリハにおける評価の流れ（ROM検査） 3 アスリハにおける評価の流れ（MMT） 4 アスリハにおける評価の流れ（整形外科的テスト） 5 アスリハにおける評価の流れ（触診：上肢） 6 アスリハにおける評価の流れ（触診：下肢） 7 アスリハにおける評価の流れ（触診：脊柱と体幹） 8 アスリハのプログラム作成の実際（治癒過程、物理療法、徒手療法の理解） 9 アスリハのプログラム作成の実際（関節可動域訓練） 10 アスリハのプログラム作成の実際（筋力強化訓練①） 11 アスリハのプログラム作成の実際（筋力強化訓練②） 12 アスリハのプログラム作成の実際（全身持久力、敏捷性、バランス訓練） 13 アスリハのプログラム作成の実際（時期による段階的なアスリハ、1 日の流れ） 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	フィットネスマネジメント
実務家教員	○
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	フィットネスクラブ業界に必要な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	フィットネスクラブ・マネジメント技能検定 3 級合格を目標とする
教科書	フィットネスクラブマネジメント公式テキスト
特記	
授業計画	1 フィットネス産業① 2 フィットネス産業② 3 健康づくり① 4 健康づくり② 5 運動・トレーニングの基礎① 6 運動・トレーニングの基礎② 7 店舗運営① 8 店舗運営② 9 顧客マネジメント① 10 顧客マネジメント② 11 チームワークとコミュニケーション 12 施設・設備管理の意義と重要性 13 安全衛生、過去問題演習 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	フィットネス実践 I
実務家教員	○
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	グループレッスンに必要な知識、実技スキルの活用方法を学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	基礎から応用まで幅広いグループレッスンの運動指導方法を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス（グループレッスンの種類、特徴、基本構成） 2 レッスンプログラミング基礎（ウォームアップとクールダウン） 3 レッスンプログラミング基礎（筋コンディショニング） 4 レッスンプログラミング基礎（その他ツール使用方法） 5 レッスンプログラミング基礎（カウントとキューイング） 6 レッスンプログラミング基礎（モデルレッスン作成） 7 レッスンプログラミング基礎（モデルレッスン実践） 8 特殊な対象への運動指導時の留意点① 9 特殊な対象への運動指導時の留意点② 10 エクササイズ① 11 エクササイズ② 12 エクササイズ③ 13 エクササイズ④ 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	幼児体育指導者理論Ⅰ
実務家教員	○
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	子どもの運動指導に必要とされる発育発達論、幼児体育論、指導プログラムを学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	幼児体育指導者検定 2 級合格を目標とする
教科書	幼児体育指導者検定公式テキスト 2・3 級
特記	
授業計画	1 幼児の発達の様相（発達の一般的傾向） 2 幼児の発達の様相（幼児期における身体的発達の意義） 3 幼児期における「利き手」の発達 4 幼児における動機づけと目標 5 学習の最適期について（レディネス） 6 学習の最適期について（臨界期） 7 運動技能学習の過程（学習曲線） 8 運動技能学習の過程（潜在的学習期） 9 運動技能学習の過程（学習の初期） 10 運動技能学習の過程（高原期と飛躍期） 11 運動技能学習の過程（完成期） 12 学習方法について（全習法） 13 学習方法について（分習法） 14 教育の 6 原則 15 筆記試験
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	幼児体育指導者実践
実務家教員	○
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	運動あそびの面白さや素晴らしさ、体を動かすことの楽しさを伝えられる指導方法を学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	幼児体育指導者検定 2 級合格を目標とする
教科書	幼児体育指導者検定公式テキスト 2・3 級
特記	
授業計画	1 実技講習の意義 2 リズム体操（やさい体操①） 3 リズム体操（やさい体操②） 4 マット運動（前転・後転） 5 マット運動（前転・後転の補助） 6 マット運動（ブリッジ実演と補助） 7 ゲームあそび 8 跳び箱（開脚跳び） 9 跳び箱（開脚跳びの横補助・後ろ補助） 10 なわとび（前とび・拍子とび） 11 なわとび（なわの指導法・結び方） 12 ボールを使った指導法 13 基本運動（低い姿勢の運動・立位の運動） 14 基本運動（バランス・体支持の運動） 15 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	一般教養Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2 年次
開講学期	前期
科目区分	選択 A B
授業方法	演習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識を学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定 2 級合格を目標とする
教科書	問題集、プリント、模擬試験
特記	
授業計画	1 訓読み・送り仮名 2 熟語 3 異字同訓・同音異義 4 誤字訂正 5 類義語 6 反対語 7 漢字の意味・使い方 8 項目別模擬試験① 9 項目別模擬試験② 10 項目別模擬試験③ 11 直前模擬試験① 12 直前模擬試験② 13 直前模擬試験③ 14 直前模擬試験④ 15 直前模擬試験⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザインⅡ
実務家教員	
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択A B
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	面接試験に向けての準備作業や集団・個人での実践練習を行う
授業の進め方	前半は座学中心に、後半は本番形式の模擬面接を実施する
達成目標	自然な会話の中で好印象を与え、自分らしさの表現を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 エントリーシート・面接カード作成① 2 エントリーシート・面接カード作成② 3 エントリーシート・面接カード作成③ 4 エントリーシート・面接カード作成④ 5 エントリーシート・面接カード作成⑤ 6 職種研究① 7 職種研究② 8 企業研究① 9 企業研究② 10 模擬面接練習① 11 模擬面接練習② 12 面接効果測定① 13 面接効果測定② 14 面接効果測定③ 15 面接効果測定④
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	ビジネスマナー	
実務家教員		
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科	
履修年次	1 年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択 A B	
授業方法	実習	
授業時間	6 0 時間（2 単位）	
授業コマ数	3 0 コマ	
授業概要	社会で求められる一般的なビジネスマナーと電話応対を学ぶ	
授業の進め方	座学を基に実技練習を行い、効果測定を行う	
達成目標	社会人として求められる一般的なレベルを超えたスキルを身に付ける	
教科書	デジタルテキスト	
特記		
授業計画	1	ビジネスマナーの基礎知識
	2	身だしなみと立ち居振る舞い
	3	敬語とビジネス用語
	4	応接・接遇のマナー
	5	電話応対基礎編（講義）
	6	電話応対基礎編（練習）
	7	電話応対基礎編（実践練習）
	8	電話応対応用編（講義）
	9	電話応対応用編（練習）
	10	電話応対応用編（実践練習）
	11	伝言を含む電話応対（講義 1）
	12	伝言を含む電話応対（練習 1）
	13	伝言を含む電話応対（講義 2）
	14	伝言を含む電話応対（練習 2）
	15	伝言を含む電話応対（実践練習 1）
	16	伝言を含む電話応対（実践練習 2）
	17	効果測定準備
	18	電話応対効果測定
	19	冠婚葬祭のマナー
	20	郵便のマナー
	21	電話での道案内
	22	クレーム対応
	23-27	ビジネスマナー実務
	28-30	ビジネスマナー総合
成績評価方法 (試験実施方法)	筆記試験および効果測定の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業順序は変更する場合がある	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容																														
授業科目	パソコン実習 I																														
実務家教員																															
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科																														
履修年次	1 年次																														
開講学期	通年																														
科目区分	選択 A B																														
授業方法	実習																														
授業時間	3 0 時間（1 単位）																														
授業コマ数	1 5 コマ																														
授業概要	社会で求められる一般的なレベルのWORDとEXCEL等の操作方法を学ぶ																														
授業の進め方	基本的なレクチャーを受けながら実際に端末を操作する																														
達成目標	社会人として求められる一般的なレベルのPCスキルを身につける																														
教科書	オリジナルテキスト																														
特記																															
授業計画	<table> <tr><td>1</td><td>パソコンの基本操作 1</td></tr> <tr><td>2</td><td>パソコンの基本操作 2</td></tr> <tr><td>3</td><td>パソコンの基本操作 3</td></tr> <tr><td>4</td><td>パソコンの基本操作 4</td></tr> <tr><td>5</td><td>パソコンの基本操作 5</td></tr> <tr><td>6</td><td>パソコンの基本操作 6</td></tr> <tr><td>7</td><td>OS/OFFICEの基本（座学）</td></tr> <tr><td>8</td><td>WORDの基本操作 1</td></tr> <tr><td>9</td><td>WORDの基本操作 2</td></tr> <tr><td>10</td><td>WORDの基本操作 3</td></tr> <tr><td>11</td><td>WORD効果測定</td></tr> <tr><td>12</td><td>EXCEL基本操作 1</td></tr> <tr><td>13</td><td>EXCEL基本操作 2</td></tr> <tr><td>14</td><td>EXCEL基本操作 3</td></tr> <tr><td>15</td><td>EXCEL効果測定</td></tr> </table>	1	パソコンの基本操作 1	2	パソコンの基本操作 2	3	パソコンの基本操作 3	4	パソコンの基本操作 4	5	パソコンの基本操作 5	6	パソコンの基本操作 6	7	OS/OFFICEの基本（座学）	8	WORDの基本操作 1	9	WORDの基本操作 2	10	WORDの基本操作 3	11	WORD効果測定	12	EXCEL基本操作 1	13	EXCEL基本操作 2	14	EXCEL基本操作 3	15	EXCEL効果測定
1	パソコンの基本操作 1																														
2	パソコンの基本操作 2																														
3	パソコンの基本操作 3																														
4	パソコンの基本操作 4																														
5	パソコンの基本操作 5																														
6	パソコンの基本操作 6																														
7	OS/OFFICEの基本（座学）																														
8	WORDの基本操作 1																														
9	WORDの基本操作 2																														
10	WORDの基本操作 3																														
11	WORD効果測定																														
12	EXCEL基本操作 1																														
13	EXCEL基本操作 2																														
14	EXCEL基本操作 3																														
15	EXCEL効果測定																														
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価																														
備考																															

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ビジネス教養 I
実務家教員	
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	1 年次
開講学期	通年
科目区分	選択 A B
授業方法	演習
授業時間	3 0 時間 (1 単位)
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	電卓の学習を通じ計算技能を養う、および一般教養に関する問題演習
授業の進め方	指定された範囲の問題を電卓にて計算、および一般教養問題集による演習
達成目標	電卓技能検定 3 ・ 4 級の合格、および一般教養知識の底上げ
教科書	検定対策テキスト・問題集、一般教養問題集
特記	
授業計画	1 電卓の基礎知識、および一般教養に関する問題演習 2 キー操作練習、および一般教養に関する問題演習 3 加減算練習、および一般教養に関する問題演習 4 見取算練習、および一般教養に関する問題演習 5 乗除算練習、および一般教養に関する問題演習 6 伝票算練習、および一般教養に関する問題演習 7 電卓総合演習、および一般教養に関する問題演習 8 電卓総合演習、および一般教養に関する問題演習 9 電卓総合演習、および一般教養に関する問題演習 10 電卓総合演習、および一般教養に関する問題演習 11 電卓総合演習、および一般教養に関する問題演習 12 電卓総合演習、および一般教養に関する問題演習 13 電卓総合演習、および一般教養に関する問題演習 14 電卓総合演習、および一般教養に関する問題演習 15 電卓総合演習、および一般教養に関する問題演習
成績評価方法 (試験実施方法)	電卓演習もしくは一般教養問題演習の得点で評価
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ビジネス教養Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	1 年次
開講学期	通年
科目区分	選択 A B
授業方法	演習
授業時間	3 0 時間（1 単位）
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	電卓の学習を通じ計算技能を養う、および一般教養に関する問題演習
授業の進め方	指定された範囲の問題を電卓にて計算、および一般教養問題集による演習
達成目標	電卓技能検定 1 ・ 2 級の合格、および一般教養知識の底上げ
教科書	検定対策テキストおよび問題集、一般教養問題集
特記	
授業計画	1 電卓の基礎知識、および一般教養に関する問題演習 2 キー操作練習、および一般教養に関する問題演習 3 加減算練習、および一般教養に関する問題演習 4 見取算練習、および一般教養に関する問題演習 5 乗除算練習、および一般教養に関する問題演習 6 伝票算練習、および一般教養に関する問題演習 7 電卓総合演習、および一般教養に関する問題演習 8 電卓総合演習、および一般教養に関する問題演習 9 電卓総合演習、および一般教養に関する問題演習 10 電卓総合演習、および一般教養に関する問題演習 11 電卓総合演習、および一般教養に関する問題演習 12 電卓総合演習、および一般教養に関する問題演習 13 電卓総合演習、および一般教養に関する問題演習 14 電卓総合演習、および一般教養に関する問題演習 15 電卓総合演習、および一般教養に関する問題演習
成績評価方法 (試験実施方法)	電卓演習および一般教養問題演習の得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	コミュニケーション実践
実務家教員	
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2 年次
開講学期	前期
科目区分	選択 A
授業方法	演習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを実施する
達成目標	グループワークの手法について基礎的な知識を習得する
教科書	プリント、資料
特記	
授業計画	1 グループディスカッションとは 2 グループディスカッションの役割 3 抽象テーマ型グループディスカッション① 4 抽象テーマ型グループディスカッション② 5 抽象テーマ型グループディスカッション③ 6 課題解決型グループディスカッション① 7 課題解決型グループディスカッション② 8 課題解決型グループディスカッション③ 9 資料読み取り型グループディスカッション① 10 資料読み取り型グループディスカッション② 11 資料読み取り型グループディスカッション③ 12 フェルミ推定 13 K J 法 14 その他特殊型① 15 その他特殊型②
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	スポーツキャリアデザインⅣ	
実務家教員		
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択 A	
授業方法	講義	
授業時間	3 0 時間	
授業コマ数	1 5 コマ	
授業概要	就職活動時や就職内定後に必要となる知識を学ぶ	
授業の進め方	各種資料による講義と演習を実施する	
達成目標	希望する分野への就職や資格試験合格を目標とする	
教科書	プリント	
特記		
授業計画	1	スポーツキャリア学習①
	2	スポーツキャリア学習②
	3	スポーツキャリア学習③
	4	スポーツキャリア学習④
	5	スポーツキャリア学習⑤
	6	スポーツキャリア学習⑥
	7	スポーツキャリア学習⑦
	8	スポーツキャリア学習⑧
	9	スポーツキャリア学習⑨
	10	スポーツキャリア学習⑩
	11	スポーツキャリア学習⑪
	12	スポーツキャリア学習⑫
	13	スポーツキャリア学習⑬
	14	スポーツキャリア学習⑭
	15	スポーツキャリア学習⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツキャリアデザインⅤ
実務家教員	
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2 年次
開講学期	後期
科目区分	選択 A
授業方法	演習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	就職活動時や就職内定後に必要となる知識を学ぶ
授業の進め方	各種資料による講義と演習を実施する
達成目標	希望する分野への就職や資格試験合格を目標とする
教科書	プリント
特記	
授業計画	1 スポーツキャリア演習① 2 スポーツキャリア演習② 3 スポーツキャリア演習③ 4 スポーツキャリア演習④ 5 スポーツキャリア演習⑤ 6 スポーツキャリア演習⑥ 7 スポーツキャリア演習⑦ 8 スポーツキャリア演習⑧ 9 スポーツキャリア演習⑨ 10 スポーツキャリア演習⑩ 11 スポーツキャリア演習⑪ 12 スポーツキャリア演習⑫ 13 スポーツキャリア演習⑬ 14 スポーツキャリア演習⑭ 15 スポーツキャリア演習⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	バイオメカニクス
実務家教員	○
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	力学的視点から運動の仕組みを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	健康運動実践指導者、JATIの試験に必要なバイオメカニクス範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（理）
特記	
授業計画	1 身体運動に関係する筋と骨① 2 身体運動に関係する筋と骨② 3 単関節・多関節運動 4 筋腱複合体の弾性要素と弾性エネルギーが利用できる運動様式① 5 筋腱複合体の弾性要素と弾性エネルギーが利用できる運動様式② 6 中間考査対策① 7 中間考査① 8 着地衝撃とその緩和法 9 投動作と打動作の共通点 10 運動と流体力① 11 運動と流体力② 12 期末考査対策① 13 期末考査① 14 バイオメカニクスの基礎理論① 15 バイオメカニクスの基礎理論② 16 バイオメカニクスの基礎理論③ 17 バイオメカニクスの基礎理論④ 18 バイオメカニクスの基礎理論⑤ 19 中間考査対策② 20 中間考査② 21 スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス① 22 スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス② 23 スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス③ 24 スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス④ 25 スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス⑤ 26 スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス⑥ 27 問題演習① 28 問題演習② 29 期末考査対策② 30 期末考査②
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツ医学 I
実務家教員	
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2 年次
開講学期	前期
科目区分	選択 A
授業方法	講義
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	急性・慢性傷害の概要とその予防方法について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	健康運動実践指導者、J A T I の試験に必要なスポーツ医学（外科）範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（理）
特記	
授業計画	1 運動中止の判定 2 内科的な急性障害、慢性障害 3 救急処置① 4 救急処置② 5 整形外科的傷害と外科的救急処置 6 中間考査 7 スポーツ傷害とは 8 足部・足関節の傷害 9 下腿部の傷害 10 膝関節の傷害 11 大腿部の傷害 12 腰部の傷害 13 肩関節の傷害 14 肘関節・手関節の傷害 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツ医学Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	急性・慢性傷害の概要とその予防方法について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	健康運動実践指導者、JATIの試験に必要なスポーツ医学（内科）範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（理）
特記	
授業計画	- 生活習慣病予防と身体活動・運動 - 肥満① - 肥満② - 糖尿病① - 糖尿病② - 中間考査対策 - 中間考査 - 脂質異常症① - 脂質異常症② - 高血圧症① - 高血圧症② - 問題演習① - 問題演習② - 期末考査対策 - 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	健康管理概論
実務家教員	○
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2 年次
開講学期	後期
科目区分	選択 A
授業方法	講義
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	健康と健康づくりの概念と歴史、わが国の疾病状況とおよび高齢化の現状を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	健康運動実践指導者、J A T I の試験に必要な健康管理概論範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（理）
特記	
授業計画	1 健康と健康増進の概念、わが国の現状と健康づくり施策① 2 わが国の現状と健康づくり施策② 3 生活習慣病とメタボリックシンドローム、介護予防について 4 メディカルチェック 5 中間考査対策 6 中間考査 7 体力の概念① 8 体力の概念② 9 体力の要素と体力モデル① 10 体力の要素と体力モデル② 11 体力の個人特性、一般的体力と専門的体力、体力トレーニング 12 問題演習① 13 問題演習② 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	測定評価
実務家教員	○
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2 年次
開講学期	前期
科目区分	選択 A
授業方法	講義・実習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	各体力構成要素の具体的な測定方法ならびに体力テストの実践と評価について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実技を実施する
達成目標	健康運動実践指導者、J A T I の試験に必要な測定評価範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（実）
特記	
授業計画	1 無酸素能力の測定、有酸素能力の測定（実技） 2 最大酸素摂取量の測定、無酸素性閾値 3 体脂肪量の測定（実技） 4 新体力テスト①（実技） 5 新体力テスト②（実技） 6 新体力テスト③ 7 健康づくりのための運動指針 2 0 0 6、体力テストの評価 8 中間考査 9 トレーニング効果の測定と評価の実際① 10 トレーニング効果の測定と評価の実際② 11 トレーニング効果の測定と評価の実際③ 12 測定データの活用とフィードバック準備① 13 測定データの活用とフィードバック準備② 14 測定データの活用とフィードバック準備③ 15 期末考査
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	運動処方
実務家教員	○
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2 年次
開講学期	前期
科目区分	選択 A
授業方法	講義
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	対象の違いによる諸条件を考慮した安全かつ効果的な運動プログラムを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	健康運動実践指導者、J A T I の試験に必要な運動処方範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（実）
特記	
授業計画	1 メディカルチェックについて 2 健康の維持増進のための身体活動基準 2 0 1 3、健康づくりのためのトレーニングの原則 3 健康づくりと運動プログラム作成の基礎とポイント 4 ウォーミングアップとクーリングダウン、有酸素運動とその効果 5 レジスタンス運動 6 中間考査 7 トレーニング計画の立案① 8 トレーニング計画の立案② 9 トレーニング計画の立案③ 10 筋力トレーニングのプログラム作成① 11 筋力トレーニングのプログラム作成② 12 筋力トレーニングのプログラム作成③ 13 筋力トレーニングのプログラム作成④ 14 筋力トレーニングのプログラム作成⑤ 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	スポーツ心理学Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	身体活動・運動実践がアスリートの心身に与える影響について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	JATIの試験に必要な運動指導の心理学的基礎範囲の知識を習得する
教科書	トレーニング指導者テキスト（理）
特記	
授業計画	1 運動と心理に関する基礎理論① 2 運動と心理に関する基礎理論② 3 運動と心理に関する基礎理論③ 4 スポーツ選手の競技力向上への活用① 5 スポーツ選手の競技力向上への活用② 6 スポーツ選手の競技力向上への活用③ 7 中間考査対策 8 中間考査 9 問題演習① 10 問題演習② 11 問題演習③ 12 問題演習④ 13 問題演習⑤ 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーニング実践Ⅴ
実務家教員	○
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	選択A
授業方法	講義・実習
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	現場に必要なトレーニングの知識習得及びプログラムの立案と作成を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実技を行う
達成目標	健康運動実践指導者、JATIの試験に必要なトレーニング範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（実）
特記	
授業計画	- ウォームアップとクールダウン（実技①） - ウォームアップとクールダウン（実技②） - 柔軟性向上トレーニング及びウォームアップとクールダウン① - 柔軟性向上トレーニング及びウォームアップとクールダウン② - 柔軟性向上トレーニング及びウォームアップとクールダウン（実技） - 柔軟性向上トレーニング及びウォームアップの実際（実技①） - 柔軟性向上トレーニング及びウォームアップの実際（実技②） - 中間考査① - トレーニング計画の立案① - トレーニング計画の立案② - トレーニング計画の立案（実技） - 特別な対象のためのトレーニングプログラム（実技①） - 特別な対象のためのトレーニングプログラム（実技②） - 特別な対象のためのトレーニングプログラム（実技③） - 期末考査① - スピード向上トレーニングの理論とプログラム作成① - スピード向上トレーニングの理論とプログラム作成② - スピード向上トレーニングの理論とプログラム作成（実技） - スピード向上トレーニングの実際（実技①） - スピード向上トレーニングの実際（実技②） - スピード向上トレーニングの実際（実技③） - 中間考査② - トレーニングの運営① - トレーニングの運営② - トレーニングの運営③ - 運動指導のための情報収集と活用① - 運動指導のための情報収集と活用② - 運動指導のための情報収集と活用③ - 期末考査② - 解説
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ジョグ&ウォーク
実務家教員	
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択A
授業方法	講義・実習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	エンデュランストレーニングプログラムの立案と作成を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実技を実施する
達成目標	健康運動実践指導者、J A T I の試験に必要なウォーキングとジョギング範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（実）
特記	
授業計画	1 ウォーキングとジョギング、ウォーキングとジョギングの特性 2 ウォーキングとジョギングによる運動効果、時間と頻度（実技） 3 ウォーキングとジョギングのエネルギー消費量（実技） 4 ウォーキングとジョギングの基本的なフォーム、安全上の注意点（実技） 5 ウォーキングとジョギングによる障害とその予防法 6 ウォーキングとジョギングのプログラム（実技） 7 中間考査 8 持久力向上トレーニングの理論とプログラム作成① 9 持久力向上トレーニングの理論とプログラム作成② 10 持久力向上トレーニングの理論とプログラム作成③ 11 持久力向上トレーニングの理論とプログラム作成④ 12 持久力向上トレーニングの実際① 13 持久力向上トレーニングの実際② 14 持久力向上トレーニングの実際③ 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	陸上運動
実務家教員	○
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2 年次
開講学期	後期
科目区分	選択 A
授業方法	実習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	エアロビクス・レジスタンスの特性・効果を理解し、指導法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実技を行う
達成目標	健康運動実践指導者実技試験（陸上運動）合格を目標とする
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	1 エアロビックダンス・レジスタンスの課題動作 2 エアロビックダンス（課題動作、フォーム確認） 3 エアロビックダンス（観察・修正・指導の循環） 4 エアロビックダンス（反復練習） 5 レジスタンス（課題動作、フォーム確認） 6 レジスタンス（観察・修正・指導の循環） 7 レジスタンス（反復練習） 8 中間考査 9 エアロビックダンス・レジスタンス（指導練習①） 10 エアロビックダンス・レジスタンス（指導練習②） 11 エアロビックダンス・レジスタンス（指導練習③） 12 エアロビックダンス・レジスタンス（指導練習④） 13 エアロビックダンス・レジスタンス（指導練習⑤） 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	水中運動Ⅱ
実務家教員	○
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択A
授業方法	実習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	アクアエクササイズのインストラクターの役割を理解し、指導法を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実技を行う
達成目標	健康運動実践指導者実技試験（水泳・水中運動）合格を目標とする
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	1 水中運動（アクアダンスの指導法①） 2 水中運動（アクアダンスの指導法②） 3 水中運動（アクアダンスの指導法③） 4 水中運動（アクアダンスの指導法④） 5 水中運動（アクアダンスの指導法⑤） 6 水中運動（アクアダンスの指導法⑥） 7 水中運動（アクアダンスの指導法⑦） 8 中間考査 9 水中運動（水中ウォーキング、レジスタンスの指導法①） 10 水中運動（水中ウォーキング、レジスタンスの指導法②） 11 水中運動（水中ウォーキング、レジスタンスの指導法③） 12 水中運動（水中ウォーキング、レジスタンスの指導法④） 13 水中運動（水中ウォーキング、レジスタンスの指導法⑤） 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	健康運動実践指導者理論Ⅰ
実務家教員	○
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	健康運動指導者検定試験に必要な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	健康運動実践指導者筆記試験合格を目標とする
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	- 健康づくり施策概論① - 健康づくり施策概論② - 健康づくり施策概論③ - 運動生理学① - 運動生理学② - 機能解剖とバイオメカニクス① - 機能解剖とバイオメカニクス② - 中間考査 - 栄養摂取と運動① - 栄養摂取と運動② - 体力測定と評価① - 体力測定と評価② - 健康づくりと運動プログラム① - 健康づくりと運動プログラム② - 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	健康運動実践指導者理論Ⅱ
実務家教員	○
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	健康運動指導者検定試験に必要な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	健康運動実践指導者筆記試験合格を目標とする
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	1 運動指導の心理学的基礎① 2 運動指導の心理学的基礎② 3 健康づくり運動の実際（ウォームアップとクールダウン、ストレッチング） 4 健康づくり運動の実際（ウォーキングとジョギング、エアロビクスダンス） 5 健康づくり運動の実際（水泳・水中運動、レジスタンスエクササイズ） 6 運動障害と予防・救急処置① 7 運動障害と予防・救急処置② 8 中間考査 9 問題演習① 10 問題演習② 11 問題演習③ 12 問題演習④ 13 問題演習⑤ 14 問題演習⑥ 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	解剖学Ⅱ
実務家教員	○
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	運動器の骨、筋、靱帯、関節の機能を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	整形外科的範囲内の機能解剖学の内容を理解する
教科書	トレーニング指導者テキスト（実）、トレーニング指導者テキスト（理）、ボディナビゲーション
特記	
授業計画	1 傷害の受傷から復帰までのトレーニングとプログラム作成① 2 傷害の受傷から復帰までのトレーニングとプログラム作成② 3 傷害の受傷から復帰までのトレーニングとプログラム作成③ 4 傷害の受傷から復帰までのトレーニングとプログラム作成④ 5 傷害の受傷から復帰までのトレーニングとプログラム作成⑤ 6 傷害の受傷から復帰までのトレーニングとプログラム作成⑥ 7 中間考査① 8 上肢（関節） 9 上肢（神経と血管①） 10 上肢（神経と血管②） 11 上肢（筋①） 12 上肢（筋②） 13 上肢（筋③） 14 期末考査① 15 下肢（骨、関節、筋肉） 16 下肢（神経と動脈） 17 下肢（股関節の筋①） 18 下肢（股関節の筋②） 19 下肢（足関節の筋①） 20 下肢（足関節の筋②） 21 中間考査② 22 問題演習① 23 問題演習② 24 問題演習③ 25 問題演習④ 26 問題演習⑤ 27 問題演習⑥ 28 問題演習⑦ 29 問題演習⑧ 30 期末考査②
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	運動生理学Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	筋の役割や呼吸循環系といった運動生理学の知識とトレーニングとの関連性を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	J A T I の試験に必要な運動生理学範囲の知識を習得する
教科書	トレーニング指導者テキスト（理）
特記	
授業計画	1 呼吸循環系（エネルギー代謝の基礎的情報①） 2 呼吸循環系（エネルギー代謝の基礎的情報②） 3 呼吸循環系（運動とエネルギー代謝①） 4 呼吸循環系（運動とエネルギー代謝②） 5 呼吸循環系（トレーニングとエネルギー代謝①） 6 呼吸循環系（トレーニングとエネルギー代謝②） 7 中間考査対策① 8 中間考査① 9 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動（骨格筋の形態と機能①） 10 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動（骨格筋の形態と機能②） 11 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動（筋力発揮のメカニズム①） 12 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動（筋力発揮のメカニズム②） 13 期末考査対策① 14 期末考査① 15 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動（筋・神経系に対するトレーニング効果①） 16 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動（筋・神経系に対するトレーニング効果②） 17 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動（主な内分泌器官とホルモン①） 18 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動（主な内分泌器官とホルモン②） 19 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動（身体機能へのホルモンの作用①） 20 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動（身体機能へのホルモンの作用②） 21 中間考査対策② 22 中間考査② 23 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動（筋肥大におけるホルモンの役割①） 24 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動（筋肥大におけるホルモンの役割②） 25 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動（レジスタンストレーニングとホルモンの分泌①） 26 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動（レジスタンストレーニングとホルモンの分泌②） 27 問題演習① 28 問題演習② 29 期末考査対策② 30 期末考査②
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーニング指導者理論
実務家教員	○
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2 年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択 A
授業方法	講義
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	J A T I の試験に必要な理論編範囲を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	J A T I 試験の一般科目合格レベルを目標とする
教科書	トレーニング指導者テキスト（理）、J A T I 問題集
特記	
授業計画	1 体力学総論 2 機能解剖学（上肢） 3 機能解剖学（脊柱と胸郭） 4 機能解剖学（下肢） 5 バイオメカニクス（基礎理論） 6 バイオメカニクス（スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス） 7 運動生理学① 8 運動生理学② 9 中間考査 10 運動と栄養 11 運動と心理 12 運動と医学（救急処置法、スポーツ選手の整形外科的傷害と予防） 13 運動と医学（生活習慣病とその予防） 14 運動指導の科学 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーニング指導者実践
実務家教員	○
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2 年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択 A
授業方法	講義
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	J A T I の試験に必要な実践編範囲を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	J A T I 試験の専門科目合格レベルを目標とする
教科書	トレーニング指導者テキスト（実）、J A T I 問題集
特記	
授業計画	1 トレーニング指導者論 2 各種トレーニング法の理論とプログラム① 3 各種トレーニング法の理論とプログラム② 4 各種トレーニング法の理論とプログラム③ 5 各種トレーニング法の理論とプログラム④ 6 各種トレーニング法の理論とプログラム⑤ 7 中間考査 8 各種トレーニング法の実際① 9 各種トレーニング法の実際② 10 各種トレーニング法の実際③ 11 各種トレーニング法の実際④ 12 トレーニング効果の測定と評価① 13 トレーニング効果の測定と評価② 14 トレーニングの運営と情報収集と活用 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーニング指導者演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択A
授業方法	演習
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	JATIの試験に必要な理論編範囲を学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を実施する
達成目標	JATI試験の一般科目合格レベルを目標とする
教科書	トレーニング指導者テキスト（理）、JATI問題集
特記	
授業計画	- 問題演習（理論編①） - 問題演習（理論編②） - 問題演習（理論編③） - 問題演習（理論編④） - 問題演習（理論編⑤） - 問題演習（理論編⑥） - 問題演習（理論編⑦） - 中間考査① - 問題演習（理論編⑧） - 問題演習（理論編⑨） - 問題演習（理論編⑩） - 問題演習（理論編⑪） - 問題演習（理論編⑫） - 問題演習（理論編⑬） - 期末考査① - 問題演習（理論編⑭） - 問題演習（理論編⑮） - 問題演習（理論編⑯） - 問題演習（理論編⑰） - 問題演習（理論編⑱） - 問題演習（理論編⑲） - 中間考査② - 問題演習（理論編⑳） - 問題演習（理論編㉑） - 問題演習（理論編㉒） - 問題演習（理論編㉓） - 問題演習（理論編㉔） - 問題演習（理論編㉕） - 模擬試験 - 期末考査②
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーニング指導者演習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択A
授業方法	演習
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	JATIの試験に必要な実践編範囲を学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を実施する
達成目標	JATI試験の専門科目合格レベルを目標とする
教科書	トレーニング指導者テキスト（実）、JATI問題集
特記	
授業計画	- 問題演習（実践編①） - 問題演習（実践編②） - 問題演習（実践編③） - 問題演習（実践編④） - 問題演習（実践編⑤） - 問題演習（実践編⑥） - 問題演習（実践編⑦） - 中間考査① - 問題演習（実践編⑧） - 問題演習（実践編⑨） - 問題演習（実践編⑩） - 問題演習（実践編⑪） - 問題演習（実践編⑫） - 問題演習（実践編⑬） - 期末考査① - 問題演習（実践編⑭） - 問題演習（実践編⑮） - 問題演習（実践編⑯） - 問題演習（実践編⑰） - 問題演習（実践編⑱） - 問題演習（実践編⑲） - 中間考査② - 問題演習（実践編⑳） - 問題演習（実践編㉑） - 問題演習（実践編㉒） - 問題演習（実践編㉓） - 問題演習（実践編㉔） - 問題演習（実践編㉕） - 模擬試験 - 期末考査②
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	アクアエクササイズ
実務家教員	○
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2 年次
開講学期	前期
科目区分	選択 A
授業方法	実習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	アクアエクササイズインストラクターの役割を理解し、指導法を学ぶ
授業の進め方	筆記試験と実技試験の対策指導を実施する
達成目標	J A F A－G F I A Q W I ・ A Q D I 試験合格を目標とする
教科書	アクアエクササイズ指導理論
特記	
授業計画	1 水中レジスタンス、アクアダンスの特性・効果 2 水中レジスタンスの基本動作、運動強度 3 水中レジスタンスのプログラミング 4 水中レジスタンスの指導法① 5 水中レジスタンスの指導法② 6 水中ウォーキング、レジスタンスの指導法① 7 水中ウォーキング、レジスタンスの指導法② 8 中間考査 9 腰痛者、妊婦などの対象者への指導、注意点 10 アクアダンスの基本動作 11 アクアダンスの運動強度 12 アクアダンスのプログラミング 13 アクアダンスのコリオグラフィー 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	エアロビクスⅡ
実務家教員	○
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択A
授業方法	実習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	エアロビクスインストラクターの役割を理解し、指導法を学ぶ
授業の進め方	筆記試験と実技試験の対策指導を実施する
達成目標	J A F A－G F I A D I 試験合格を目標とする
教科書	エアロビックダンスエクササイズ指導理論
特記	
授業計画	1 環境条件（音楽、心拍数、強度、服装、用具、シューズ、床） 2 運動指導上の注意点、指導者の役割 3 エアロビックダンス（プログラミング：運動強度） 4 エアロビックダンス（プログラミング：つなぎ、コンビネーション） 5 エアロビックダンス（プログラミング：安全性、リニア） 6 エアロビックダンス（指導法：キューイング） 7 指導の循環 8 中間考査 9 エアロビックダンス（指導練習①） 10 エアロビックダンス（指導練習②） 11 エアロビックダンス（指導練習③） 12 エアロビックダンス（指導練習④） 13 エアロビックダンス（指導練習⑤） 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーニング実践VI
実務家教員	
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2 年次
開講学期	後期
科目区分	選択 A
授業方法	実習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	走る、跳ぶに特化したトレーニング科学の概論を学ぶ
授業の進め方	スピード向上トレーニングの種類や効果を理解し、実施する
達成目標	スポーツ選手を対象とした運動指導方法を習得する
教科書	トレーニング指導者テキスト（実）
特記	
授業計画	1 ガイダンス（スピードの概念、基本動作） 2 体幹トレーニング概論① 3 体幹トレーニング概論② 4 スプリント（スタート動作①） 5 スプリント（スタート動作②） 6 スプリント（減速動作①） 7 スプリント（減速動作②） 8 スプリント（フリープロGRESSION） 9 ジャンプ（スクワット～スクワットジャンプ） 10 ジャンプ（連続ジャンプ～ターンジャンプへの応用） 11 ラテラル動作（サイドウォーク～サイドステップ） 12 ラテラル動作（繰り返し動作） 13 フリープロGRESSION応用（リニア～ラテラル、ラテラル～リニア） 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーニング実践Ⅶ
実務家教員	
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択A
授業方法	実習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	パーソナルトレーニング指導において様々なトレーニング方法とプログラミング方法を学ぶ
授業の進め方	パーソナルトレーニングの種類や効果を理解し、実施する
達成目標	様々なクライアントに対して適切なトレーニングメニューの作成方法を習得する
教科書	トレーニング指導者テキスト（実）
特記	
授業計画	1 ガイダンス（強度、頻度、回数の応用理論） 2 スロートレーニング① 3 スロートレーニング② 4 スロートレーニング③ 5 徒手抵抗トレーニング① 6 徒手抵抗トレーニング② 7 徒手抵抗トレーニング③ 8 バリステックトレーニング① 9 バリステックトレーニング② 10 バリステックトレーニング③ 11 様々なクライアントを対象としたプログラミング① 12 様々なクライアントを対象としたプログラミング② 13 様々なクライアントを対象としたプログラミング③ 14 期末考查対策 15 期末考查
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考查の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	トレーニング実践Ⅷ
実務家教員	
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2 年次
開講学期	後期
科目区分	選択 A
授業方法	実習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	様々な有酸素、無酸素運動のトレーニング方法とプログラミング方法を学ぶ
授業の進め方	エンデュランストレーニングの種類と効果を理解し、実施する
達成目標	様々なクライアントに対して適切なトレーニングメニューの作成方法を習得する
教科書	トレーニング指導者テキスト（実）
特記	
授業計画	1 ガイダンス（持久力に関する基礎理論） 2 適切なウォームアップとクールダウン 3 L S D トレーニング 4 A T ペーストレーニング 5 タイムトライアル 6 ビルドアップ 7 ファルトレク 8 インターバルトレーニング① 9 インターバルトレーニング② 10 レペティショントレーニング① 11 レペティショントレーニング② 12 様々なクライアントを対象としたプログラミング① 13 様々なクライアントを対象としたプログラミング② 14 期末考查対策 15 期末考查
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考查の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	リハビリテーションⅡ
実務家教員	
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2 年次
開講学期	後期
科目区分	選択 A
授業方法	実習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	筋・筋膜への包括的なアプローチ方法について学ぶ
授業の進め方	リハビリテーションの種類や効果を理解し、実施する
達成目標	様々な対象に対して筋・筋膜へのアプローチ方法を習得する
教科書	ボディナビゲーション
特記	
授業計画	1 ガイダンス（セルフモニタリングのやり方について） 2 解剖学（表層筋） 3 解剖学（深層筋） 4 表層筋へのアプローチ① 5 表層筋へのアプローチ② 6 表層筋へのアプローチ③ 7 深層筋へのアプローチ① 8 深層筋へのアプローチ② 9 深層筋へのアプローチ③ 10 様々な対象へのアプローチ① 11 様々な対象へのアプローチ② 12 様々な対象へのアプローチ③ 13 様々な対象へのアプローチ④ 14 期末考查対策 15 期末考查
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考查の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	フィットネス実践Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2 年次
開講学期	後期
科目区分	選択 A
授業方法	実習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	グループレッスンに必要な知識、実技スキルの活用方法を学ぶ
授業の進め方	グループレッスンの種類や効果を理解し、実施する
達成目標	基礎から応用まで幅広いグループレッスンの運動指導方法を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス（グループレッスンの種類、特徴、基本構成） 2 レッスンプログラミング応用（ウォームアップとクールダウン指導） 3 レッスンプログラミング応用（筋コンディショニング指導） 4 レッスンプログラミング応用（その他ツール使用の指導） 5 レッスンプログラミング応用（カウントとキューイング指導） 6 レッスンプログラミング応用（モデルレッスン作成指導） 7 レッスンプログラミング応用（モデルレッスン実践指導） 8 特殊な対象への運動指導時の留意点① 9 特殊な対象への運動指導時の留意点② 10 エクササイズ指導① 11 エクササイズ指導② 12 エクササイズ指導③ 13 エクササイズ指導④ 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	幼児体育指導者理論Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	子どもの運動指導に必要とされる発育発達論、幼児体育論、指導プログラムを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する
達成目標	適切な幼児体育指導の基礎的知識を習得する
教科書	幼児体育指導者検定公式テキスト 2・3級
特記	
授業計画	1 幼児の発達の様相（スキヤモンの発育曲線に見る運動の発達順序） 2 幼児の発達の様相（乳幼児から幼児期への身体発達） 3 幼児期における運動中枢の未分化と発達過程における左右交替の原理） 4 幼児における外発的動機づけと内発的動機づけ 5 学習の適時性（臨界期とレディネス） 6 学習の適時性（身体的心理面からの幼児の発達の特徴の理解） 7 学習曲線のタイプ別理解（タイプA、B） 8 学習曲線のタイプ別理解（タイプC、D、E） 9 運動(技能)学習の過程（初期効果） 10 運動(技能)学習の過程（高原現象について） 11 運動(技能)学習の過程（学習の移転） 12 学習方法について（全習法と分習法の選択） 13 教育の6原則（動機、目的、実習の原則について） 14 教育の6原則（現実性、経験、関連性の原則） 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	流通キャリアデザインⅢ	
実務家教員		
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	実習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 2 3 4・5 6・7 8 9 10・11 12・13 14・15	挨拶の種類・笑顔、お辞儀 正しい敬語の使い方 状況に応じた言葉遣い 演習 効果測定 応対の基本 名刺交換 演習 総合演習 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																														
授業科目	流通キャリアデザインⅣ																														
実務家教員																															
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科																														
履修年次	2年次																														
開講学期	通年																														
科目区分	選択A																														
授業方法	実習																														
授業時間	30時間																														
授業コマ数	15コマ																														
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習																														
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る																														
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける																														
教科書	オリジナルテキスト																														
特記																															
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>接客販売の心得</td></tr> <tr><td>2</td><td>お客様の心理理解</td></tr> <tr><td>3</td><td>接客用語</td></tr> <tr><td>4</td><td>状況別の店内接客</td></tr> <tr><td>5</td><td>状況別の店内接客</td></tr> <tr><td>6</td><td>演習</td></tr> <tr><td>7</td><td>演習</td></tr> <tr><td>8</td><td>電話応対での問い合わせ</td></tr> <tr><td>9</td><td>演習</td></tr> <tr><td>10</td><td>演習</td></tr> <tr><td>11</td><td>総合演習</td></tr> <tr><td>12</td><td>総合演習</td></tr> <tr><td>13</td><td>総合演習</td></tr> <tr><td>14</td><td>効果測定</td></tr> <tr><td>15</td><td>効果測定</td></tr> </table>	1	接客販売の心得	2	お客様の心理理解	3	接客用語	4	状況別の店内接客	5	状況別の店内接客	6	演習	7	演習	8	電話応対での問い合わせ	9	演習	10	演習	11	総合演習	12	総合演習	13	総合演習	14	効果測定	15	効果測定
1	接客販売の心得																														
2	お客様の心理理解																														
3	接客用語																														
4	状況別の店内接客																														
5	状況別の店内接客																														
6	演習																														
7	演習																														
8	電話応対での問い合わせ																														
9	演習																														
10	演習																														
11	総合演習																														
12	総合演習																														
13	総合演習																														
14	効果測定																														
15	効果測定																														
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定																														
備考																															

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																														
授業科目	流通キャリアデザインⅤ																														
実務家教員																															
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科																														
履修年次	2年次																														
開講学期	通年																														
科目区分	選択Ⅰ																														
授業方法	実習																														
授業時間	30時間																														
授業コマ数	15コマ																														
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習																														
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る																														
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける																														
教科書	オリジナルテキスト																														
特記																															
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>営業職のマナー①</td></tr> <tr><td>2</td><td>営業職のマナー②</td></tr> <tr><td>3</td><td>訪問のマナー①</td></tr> <tr><td>4</td><td>訪問のマナー②</td></tr> <tr><td>5</td><td>演習</td></tr> <tr><td>6</td><td>演習</td></tr> <tr><td>7</td><td>商談の進め方①</td></tr> <tr><td>8</td><td>商談の進め方②</td></tr> <tr><td>9</td><td>演習</td></tr> <tr><td>10</td><td>演習</td></tr> <tr><td>11</td><td>総合演習</td></tr> <tr><td>12</td><td>総合演習</td></tr> <tr><td>13</td><td>総合演習</td></tr> <tr><td>14</td><td>効果測定</td></tr> <tr><td>15</td><td>効果測定</td></tr> </table>	1	営業職のマナー①	2	営業職のマナー②	3	訪問のマナー①	4	訪問のマナー②	5	演習	6	演習	7	商談の進め方①	8	商談の進め方②	9	演習	10	演習	11	総合演習	12	総合演習	13	総合演習	14	効果測定	15	効果測定
1	営業職のマナー①																														
2	営業職のマナー②																														
3	訪問のマナー①																														
4	訪問のマナー②																														
5	演習																														
6	演習																														
7	商談の進め方①																														
8	商談の進め方②																														
9	演習																														
10	演習																														
11	総合演習																														
12	総合演習																														
13	総合演習																														
14	効果測定																														
15	効果測定																														
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定																														
備考																															

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																														
授業科目	流通キャリアデザインⅥ																														
実務家教員																															
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科																														
履修年次	2年次																														
開講学期	通年																														
科目区分	選択A																														
授業方法	実習																														
授業時間	30時間																														
授業コマ数	15コマ																														
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習																														
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る																														
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける																														
教科書	オリジナルテキスト																														
特記																															
授業計画	<table> <tr><td>1</td><td>商品説明知識</td></tr> <tr><td>2</td><td>好感を持たれる商品説明</td></tr> <tr><td>3</td><td>演習</td></tr> <tr><td>4</td><td>演習</td></tr> <tr><td>5</td><td>クレームとは</td></tr> <tr><td>6</td><td>電話でのクレーム対応方法</td></tr> <tr><td>7</td><td>演習</td></tr> <tr><td>8</td><td>演習</td></tr> <tr><td>9</td><td>店内でのクレーム対応方法</td></tr> <tr><td>10</td><td>演習</td></tr> <tr><td>11</td><td>演習</td></tr> <tr><td>12</td><td>総合演習</td></tr> <tr><td>13</td><td>総合演習</td></tr> <tr><td>14</td><td>効果測定</td></tr> <tr><td>15</td><td>効果測定</td></tr> </table>	1	商品説明知識	2	好感を持たれる商品説明	3	演習	4	演習	5	クレームとは	6	電話でのクレーム対応方法	7	演習	8	演習	9	店内でのクレーム対応方法	10	演習	11	演習	12	総合演習	13	総合演習	14	効果測定	15	効果測定
1	商品説明知識																														
2	好感を持たれる商品説明																														
3	演習																														
4	演習																														
5	クレームとは																														
6	電話でのクレーム対応方法																														
7	演習																														
8	演習																														
9	店内でのクレーム対応方法																														
10	演習																														
11	演習																														
12	総合演習																														
13	総合演習																														
14	効果測定																														
15	効果測定																														
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況																														
備考																															

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																														
授業科目	Excel応用																														
実務家教員																															
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科																														
履修年次	2年次																														
開講学期	通年																														
科目区分	選択A																														
授業方法	実習																														
授業時間	30時間																														
授業コマ数	15コマ																														
授業概要	MOS Excelエキスパートレベルの知識・操作に関する総合的な学習																														
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る																														
達成目標	Excelの主な機能を利用して、複数のシートを含むブックの作成・編集、データの抽出や並べ替え、数式の作成、関数の使用、グラフを利用したデータの視覚的表現、印刷設定など、さまざまな目的や状況に応じて数値データを扱うことができる																														
教科書	オリジナルテキスト																														
特記																															
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>オプションと設定</td></tr> <tr><td>2</td><td>文書の管理 1</td></tr> <tr><td>3</td><td>文書の管理 2</td></tr> <tr><td>4</td><td>高度な書式設定 1</td></tr> <tr><td>5</td><td>高度な書式設定 2</td></tr> <tr><td>6</td><td>参考資料作成・管理 1</td></tr> <tr><td>7</td><td>参考資料作成・管理 2</td></tr> <tr><td>8</td><td>フォーム、フィールド、差し込み印刷 1</td></tr> <tr><td>9</td><td>フォーム、フィールド、差し込み印刷 2</td></tr> <tr><td>10</td><td>マクロの作成 1</td></tr> <tr><td>11</td><td>マクロの作成 2</td></tr> <tr><td>12</td><td>ユーザー設定機能</td></tr> <tr><td>13</td><td>実技演習 1</td></tr> <tr><td>14</td><td>実技演習 2</td></tr> <tr><td>15</td><td>効果測定</td></tr> </table>	1	オプションと設定	2	文書の管理 1	3	文書の管理 2	4	高度な書式設定 1	5	高度な書式設定 2	6	参考資料作成・管理 1	7	参考資料作成・管理 2	8	フォーム、フィールド、差し込み印刷 1	9	フォーム、フィールド、差し込み印刷 2	10	マクロの作成 1	11	マクロの作成 2	12	ユーザー設定機能	13	実技演習 1	14	実技演習 2	15	効果測定
1	オプションと設定																														
2	文書の管理 1																														
3	文書の管理 2																														
4	高度な書式設定 1																														
5	高度な書式設定 2																														
6	参考資料作成・管理 1																														
7	参考資料作成・管理 2																														
8	フォーム、フィールド、差し込み印刷 1																														
9	フォーム、フィールド、差し込み印刷 2																														
10	マクロの作成 1																														
11	マクロの作成 2																														
12	ユーザー設定機能																														
13	実技演習 1																														
14	実技演習 2																														
15	効果測定																														
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定																														
備考																															

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	Word応用	
実務家教員		
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択 A	
授業方法	実習	
授業時間	3 0 時間	
授業コマ数	1 5 コマ	
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの応用的な操作を習得する	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	MOS Wordレベルの操作を習得する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	オプションと設定
	2	文書の管理 1
	3	文書の管理 2
	4	高度な書式設定 1
	5	高度な書式設定 2
	6	参考資料作成・管理 1
	7	参考資料作成・管理 2
	8	フォーム、フィールド、差し込み印刷 1
	9	フォーム、フィールド、差し込み印刷 2
	10	マクロの作成 1
	11	マクロの作成 2
	12	ユーザー設定機能
	13	実技演習 1
	14	実技演習 2
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	販売知識基礎	
実務家教員		
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	仕入れ在庫管理・接客マナー・企画立案、マネジメントの知識を理解する	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	モノやサービスが売れる仕組みについての知識を身に付ける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 販売員の役割① 2 販売員の役割② 3 販売員の役割③ 4 販売員の法廷知識① 5 販売員の法廷知識② 6 販売員の法廷知識③ 7 小売業の計数管理① 8 小売業の計数管理② 9 小売業の計数管理③ 10 店舗管理① 11 店舗管理② 12 店舗管理③ 13 店舗管理④ 14 店舗管理⑤ 15 店舗管理⑥ 16 流通における小売業① 17 流通における小売業② 18 流通における小売業③ 19 流通における小売業④ 20 流通における小売業⑤ 21 流通における小売業⑥ 22 組織形態別小売業① 23 組織形態別小売業② 24 組織形態別小売業③ 25 店舗形態別小売業① 26 店舗形態別小売業② 27 店舗形態別小売業③ 28 商業集積① 29 商業集積② 30 商業集積③	31 商業集積④ 32 商業集積⑤ 33 商業集積⑥ 34 小売業のマーケティング① 35 小売業のマーケティング② 36 小売業のマーケティング③ 37 小売業のマーケティング④ 38 小売業のマーケティング⑤ 39 小売業のマーケティング⑥ 40 顧客満足経営① 41 顧客満足経営② 42 顧客満足経営③ 43 顧客満足経営④ 44 顧客満足経営⑤ 45 顧客満足経営⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	販売知識応用		
実務家教員			
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科		
履修年次	2年次		
開講学期	通年		
科目区分	選択A		
授業方法	講義		
授業時間	90時間		
授業コマ数	45コマ		
授業概要	小売業について体系的に学び、実務的なビジネスの知識を理解する		
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ		
達成目標	リテールマーケティング検定3級レベルの知識を理解し身に付ける		
教科書	テキスト及び参考書		
特記			
授業計画	1 証券の設定と出店① 2 証券の設定と出店② 3 証券の設定と出店③ 4 リージョナルプロモーション① 5 リージョナルプロモーション② 6 リージョナルプロモーション③ 7 顧客志向型売り場づくり① 8 顧客志向型売り場づくり② 9 顧客志向型売り場づくり③ 10 ストアオペレーション① 11 ストアオペレーション② 12 ストアオペレーション③ 13 ストアオペレーション④ 14 ストアオペレーション⑤ 15 ストアオペレーション⑥ 16 梱包技術① 17 梱包技術② 18 梱包技術③ 19 ディ스플레이① 20 ディ스플레이② 21 ディ스플레이③ 22 商品① 23 商品② 24 商品③ 25 マーチャンダイジング① 26 マーチャンダイジング② 27 マーチャンダイジング③ 28 マーチャンダイジング④ 29 マーチャンダイジング⑤ 30 マーチャンダイジング⑥	31 商品計画① 32 商品計画② 33 商品計画③ 34 販売計画及び仕入れ計画① 35 販売計画及び仕入れ計画② 36 販売計画及び仕入れ計画③ 37 価格設定① 38 価格設定② 39 価格設定③ 40 在庫管理① 41 在庫管理② 42 在庫管理③ 43 販売管理① 44 販売管理② 45 販売管理③	
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Power Point基礎
実務家教員	
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	選択A
授業方法	実習
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの基礎操作を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 プレゼンテーションの作成① 2 プレゼンテーションの作成② 3 スライドの挿入、書式設定① 4 スライドの挿入、書式設定② 5 配布資料、ノートの変更① 6 配布資料、ノートの変更② 7 配布資料、ノートの変更③ 8 スライドの並び替え、グループ化① 9 スライドの並び替え、グループ化② 10 スライドの並び替え、グループ化③ 11 オプションの変更① 12 オプションの変更② 13 オプションの変更③ 14 スライドショーの設定、実行① 15 スライドショーの設定、実行② 16 スライドショーの設定、実行③ 17 テキストの挿入、書式設定① 18 テキストの挿入、書式設定② 19 テキストの挿入、書式設定③ 20 図形・テキストボックスの挿入・書式設定① 21 図形・テキストボックスの挿入・書式設定② 22 図形・テキストボックスの挿入・書式設定③ 23 図の挿入、書式設定① 24 図の挿入、書式設定② 25 図の挿入、書式設定③ 26 図の挿入、書式設定④ 27 図形の並び替え、グループ化① 28 図形の並び替え、グループ化② 29 図形の並び替え、グループ化③ 30 図形の並び替え、グループ化④
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																														
授業科目	Power Point応用																														
実務家教員																															
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科																														
履修年次	2 年次																														
開講学期	通年																														
科目区分	選択 A																														
授業方法	実習																														
授業時間	3 0 時間																														
授業コマ数	1 5 コマ																														
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの応用的な操作を習得する																														
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る																														
達成目標	MOS PowerPointレベルの操作を習得する																														
教科書	テキスト及び参考書																														
特記																															
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>表の挿入、設定</td></tr> <tr><td>2</td><td>グラフの挿入、書式設定①</td></tr> <tr><td>3</td><td>グラフの挿入、書式設定②</td></tr> <tr><td>4</td><td>SmartArtの挿入、書式設定①</td></tr> <tr><td>5</td><td>SmartArtの挿入、書式設定②</td></tr> <tr><td>6</td><td>メディアの挿入、管理①</td></tr> <tr><td>7</td><td>メディアの挿入、管理②</td></tr> <tr><td>8</td><td>画面切り替えの設定①</td></tr> <tr><td>9</td><td>画面切り替えの設定②</td></tr> <tr><td>10</td><td>アニメーションの設定①</td></tr> <tr><td>11</td><td>アニメーションの設定②</td></tr> <tr><td>12</td><td>複数のコンテンツの結合①</td></tr> <tr><td>13</td><td>複数のコンテンツの結合②</td></tr> <tr><td>14</td><td>プレゼンテーションの保護、共有①</td></tr> <tr><td>15</td><td>プレゼンテーションの保護、共有②</td></tr> </table>	1	表の挿入、設定	2	グラフの挿入、書式設定①	3	グラフの挿入、書式設定②	4	SmartArtの挿入、書式設定①	5	SmartArtの挿入、書式設定②	6	メディアの挿入、管理①	7	メディアの挿入、管理②	8	画面切り替えの設定①	9	画面切り替えの設定②	10	アニメーションの設定①	11	アニメーションの設定②	12	複数のコンテンツの結合①	13	複数のコンテンツの結合②	14	プレゼンテーションの保護、共有①	15	プレゼンテーションの保護、共有②
1	表の挿入、設定																														
2	グラフの挿入、書式設定①																														
3	グラフの挿入、書式設定②																														
4	SmartArtの挿入、書式設定①																														
5	SmartArtの挿入、書式設定②																														
6	メディアの挿入、管理①																														
7	メディアの挿入、管理②																														
8	画面切り替えの設定①																														
9	画面切り替えの設定②																														
10	アニメーションの設定①																														
11	アニメーションの設定②																														
12	複数のコンテンツの結合①																														
13	複数のコンテンツの結合②																														
14	プレゼンテーションの保護、共有①																														
15	プレゼンテーションの保護、共有②																														
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定																														
備考																															

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																														
授業科目	販売仕入管理																														
実務家教員																															
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科																														
履修年次	2 年次																														
開講学期	通年																														
科目区分	選択 A																														
授業方法	講義																														
授業時間	3 0 時間																														
授業コマ数	1 5 コマ																														
授業概要	販売、仕入に関する店舗運営上の管理業務に関する知識を習得する講義																														
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る																														
達成目標	販売、仕入の事務手続きについて流れを理解し、証憑書類の記入や代金決済状況の管理ができる																														
教科書	テキスト及び参考書																														
特記																															
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>売上事務の流れ</td></tr> <tr><td>2</td><td>納品書の作成と売上計上①</td></tr> <tr><td>3</td><td>納品書の作成と売上計上②</td></tr> <tr><td>4</td><td>請求書の作成と代金回収管理①</td></tr> <tr><td>5</td><td>請求書の作成と代金回収管理②</td></tr> <tr><td>6</td><td>請求書の作成と代金回収管理③</td></tr> <tr><td>7</td><td>複数の得意先との取引①</td></tr> <tr><td>8</td><td>複数の得意先との取引②</td></tr> <tr><td>9</td><td>複数の得意先との取引③</td></tr> <tr><td>10</td><td>仕入事務の流れ</td></tr> <tr><td>11</td><td>仕入管理の記帳①</td></tr> <tr><td>12</td><td>仕入管理の記帳②</td></tr> <tr><td>13</td><td>仕入代金の支払いと買掛金管理①</td></tr> <tr><td>14</td><td>仕入代金の支払いと買掛金管理②</td></tr> <tr><td>15</td><td>仕入代金の支払いと買掛金管理③</td></tr> </table>	1	売上事務の流れ	2	納品書の作成と売上計上①	3	納品書の作成と売上計上②	4	請求書の作成と代金回収管理①	5	請求書の作成と代金回収管理②	6	請求書の作成と代金回収管理③	7	複数の得意先との取引①	8	複数の得意先との取引②	9	複数の得意先との取引③	10	仕入事務の流れ	11	仕入管理の記帳①	12	仕入管理の記帳②	13	仕入代金の支払いと買掛金管理①	14	仕入代金の支払いと買掛金管理②	15	仕入代金の支払いと買掛金管理③
1	売上事務の流れ																														
2	納品書の作成と売上計上①																														
3	納品書の作成と売上計上②																														
4	請求書の作成と代金回収管理①																														
5	請求書の作成と代金回収管理②																														
6	請求書の作成と代金回収管理③																														
7	複数の得意先との取引①																														
8	複数の得意先との取引②																														
9	複数の得意先との取引③																														
10	仕入事務の流れ																														
11	仕入管理の記帳①																														
12	仕入管理の記帳②																														
13	仕入代金の支払いと買掛金管理①																														
14	仕入代金の支払いと買掛金管理②																														
15	仕入代金の支払いと買掛金管理③																														
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト																														
備考																															

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																															
授業科目	時事																															
実務家教員																																
学部・学科	文化教養専門課程　スポーツ産業学科																															
履修年次	2年次																															
開講学期	通年																															
科目区分	選択A																															
授業方法	講義																															
授業時間	30時間																															
授業コマ数	15コマ																															
授業概要	現代社会における主要な時事の基本用語を理解し、自分の考えや意見を持つための学習																															
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る																															
達成目標	主要な時事の基本用語が理解できている 自ら時事に関する情報収集を行い、自分の考えや意見を伝えることができる																															
教科書	テキスト及び参考書																															
特記																																
授業計画	<table><tr><td>1</td><td>時事レポート1</td></tr><tr><td>2</td><td>時事レポート2</td></tr><tr><td>3</td><td>時事レポート3</td></tr><tr><td>4</td><td>時事レポート4</td></tr><tr><td>5</td><td>時事レポート5</td></tr><tr><td>6</td><td>時事レポート6</td></tr><tr><td>7</td><td>時事レポート7</td></tr><tr><td>8</td><td>時事レポート8</td></tr><tr><td>9</td><td>時事レポート9</td></tr><tr><td>10</td><td>時事レポート10</td></tr><tr><td>11</td><td>時事レポート11</td></tr><tr><td>12</td><td>時事レポート12</td></tr><tr><td>13</td><td>時事レポート13</td></tr><tr><td>14</td><td>時事レポート14</td></tr><tr><td>15</td><td>時事レポート15</td></tr></table>		1	時事レポート1	2	時事レポート2	3	時事レポート3	4	時事レポート4	5	時事レポート5	6	時事レポート6	7	時事レポート7	8	時事レポート8	9	時事レポート9	10	時事レポート10	11	時事レポート11	12	時事レポート12	13	時事レポート13	14	時事レポート14	15	時事レポート15
1	時事レポート1																															
2	時事レポート2																															
3	時事レポート3																															
4	時事レポート4																															
5	時事レポート5																															
6	時事レポート6																															
7	時事レポート7																															
8	時事レポート8																															
9	時事レポート9																															
10	時事レポート10																															
11	時事レポート11																															
12	時事レポート12																															
13	時事レポート13																															
14	時事レポート14																															
15	時事レポート15																															
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト																															
備考																																

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																														
授業科目	マーケティング概論																														
実務家教員																															
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科																														
履修年次	2年次																														
開講学期	通年																														
科目区分	選択A																														
授業方法	講義																														
授業時間	30時間																														
授業コマ数	15コマ																														
授業概要	マーケティングの必要性和目的を学習する																														
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る																														
達成目標	マーケティングの知識を体系的に習得する																														
教科書	テキスト及び参考書																														
特記																															
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>顧客満足①</td></tr> <tr><td>2</td><td>顧客満足②</td></tr> <tr><td>3</td><td>マーケティングの必要性①</td></tr> <tr><td>4</td><td>マーケティングの必要性②</td></tr> <tr><td>5</td><td>情報収集と分析①</td></tr> <tr><td>6</td><td>情報収集と分析②</td></tr> <tr><td>7</td><td>流通チャネル①</td></tr> <tr><td>8</td><td>流通チャネル②</td></tr> <tr><td>9</td><td>プロモーション①</td></tr> <tr><td>10</td><td>プロモーション②</td></tr> <tr><td>11</td><td>財務知識①</td></tr> <tr><td>12</td><td>財務知識②</td></tr> <tr><td>13</td><td>事例研究①</td></tr> <tr><td>14</td><td>事例研究②</td></tr> <tr><td>15</td><td>確認テスト①</td></tr> </table>	1	顧客満足①	2	顧客満足②	3	マーケティングの必要性①	4	マーケティングの必要性②	5	情報収集と分析①	6	情報収集と分析②	7	流通チャネル①	8	流通チャネル②	9	プロモーション①	10	プロモーション②	11	財務知識①	12	財務知識②	13	事例研究①	14	事例研究②	15	確認テスト①
1	顧客満足①																														
2	顧客満足②																														
3	マーケティングの必要性①																														
4	マーケティングの必要性②																														
5	情報収集と分析①																														
6	情報収集と分析②																														
7	流通チャネル①																														
8	流通チャネル②																														
9	プロモーション①																														
10	プロモーション②																														
11	財務知識①																														
12	財務知識②																														
13	事例研究①																														
14	事例研究②																														
15	確認テスト①																														
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト																														
備考																															

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	マーケティング基礎
実務家教員	
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	事例研究を通じてマーケティングを演習する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	マーケティングの具体的な手法を理解する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 店舗データの理解① 2 店舗データの理解② 3 マーケティングの流れ① 4 マーケティングの流れ② 5 売上構成分析① 6 売上構成分析② 7 来店客分析① 8 来店客分析② 9 商品分析① 10 商品分析② 11 費用分析① 12 費用分析② 13 課題抽出① 14 課題抽出② 15 アンケート調査分析① 16 アンケート調査分析② 17 企画作成① 18 企画作成② 19 企画作成③ 20 企画作成④ 21 様々なマーケティング① 22 様々なマーケティング② 23 プレ卒業研究① 24 プレ卒業研究② 25 プレ卒業研究③ 26 プレ卒業研究④ 27 プレ卒業研究⑤ 28 プレ卒業研究⑥ 29 プレ卒業研究⑦ 30 プレ卒業研究⑧
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	卒業研究	
実務家教員		
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	実習	
授業時間	180時間	
授業コマ数	90コマ	
授業概要	実店舗を題材にして、課題に対する改善案を提案し発表する	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	マーケティングの知識を活かし、現状に即した企画案を作成する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1～69 70～74 75～79 80～84 85～90	業界分析・情報収集・店舗分析・店舗見学・課題抽出・仮説・調査・検証・企画案作成 中間発表 再検証 最終発表 代表によるコンテストの実施
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	言語知識（英会話基礎）Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	外国人ネイティブ講師による講義
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	基本的な英会話の習得
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 英語基礎① 2 Self Introductions 3 Basic Conversation and Responses 4 英語基礎② 5 Everyday Conversation 6 Expressing Feelings 7 英語基礎③ 8 Emotions, Reactions, and Wh- Questions 9 Daily Life 10 英語基礎④ 11 Daily Life 2: Hospitality 12 Daily Life 3: Telephoning 13 英語基礎⑤ 14 Responding to Foreign Visitors 15 Review
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	言語知識（中国語）Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択A
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	中国人ネイティブ講師による講義
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	学習者の中国語への興味を深める上、中国や中国語についての知識を広げ、今後本格的な中国語学習のきっかけを作る。
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	- 中国語発音の基礎(1) 四つの声調・六つの基本母音・複合母音 - 中国語発音の基礎(2) 21の子音・鼻音・声調変化 - 中国語発音の基礎(3) 声調と変調・r化現象・発音のおさらい - 簡単な日常挨拶(1) 人称代名詞・単数と複数・基本的語順・疑問語「吗」について - 簡単な日常挨拶(2) 基本的語順（是or動詞を述語とする場合）・丁寧語について - 数字を覚えよう 年,月,日,曜日の言い方・所属を表す「的」・疑問視「什么」 - 数字の活用 こんな時「是」は省略される・金額の言い方・否定を表す「不」時刻と時間の長さの言い方・副詞「也」・疑問詞「怎么样」 - 存在・所有の表現 動詞「有」・否定「没有」・「什么」+名詞 - 場所の表現 場所指示代名詞「这里」「那里」「哪里」・前置詞構造「在」 - 買い物をする／値段を聞く&値段交渉する 人民元の数え方・能願動詞「要」「能」「会」「可以」・語気助詞「了」 - 乗り換えと両替 「必要・なければならない」を表す「要」・完了を表す「了」・動詞重ね型「看看」 - 電話をする→「是〜的」の構文・結果補語 約束する→ある経験を表す文型「動詞+过〜」・まだ〜していない「还没(有)〜」 - 確認する→もうすぐ〜「要〜了」・前置詞「从」「离」・選択疑問文「〜、还是〜」 - お客様の出迎え&歓迎会 連体修飾語としての動詞、動詞構造、主述構造・程度補語 「得」 - 別れを告げる&総復習 仮説を表す「〜的话」, 「要是〜就〜」・これまで習ってきた内容を総復習する
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	実践数的 I 数的推理
実務家教員	
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2 年次
開講学期	前期
科目区分	必修 B
授業方法	講義
授業時間	3 0 時間 (1 単位)
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	数学的な基礎知識と数的処理力を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 方程式・不等式 (方程式) 2 方程式・不等式 (不定式、過不足算) 3 整数・計算パズル (約数と倍数、割り算の余り、整数の性質) 4 整数・計算パズル (数列、n 進法、その他、整数に関する問題) 5 割合と比 (割合、比) 6 割合と比 (売買算) 7 割合と比 (濃度) 8 割合と比 (濃度)、速さ (速さ) 9 速さ (旅人算) 10 速さ (通過算、流水算) 11 速さ (時計算)、仕事算 (仕事算、給排水算) 12 仕事算 (仕事算、給排水算、ニュートン算) 13 その他文章題 (年齢算、平均算) 14 場合の数 (場合の数、順列、重複組合せ、円順列) 15 確率 (事象と確率、赤玉白玉・くじ引き、サイコロ・コイン、じゃんけん・期待値)
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	上記のほか、基礎数学と方程式の予備講義 1 コマを行います。

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	実践数的Ⅱ 判断推理
実務家教員	
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修B
授業方法	講義
授業時間	20時間(1単位)
授業コマ数	10コマ
授業概要	論理的な思考を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	数学的な基礎知識と論理的な思考力を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 論理(対偶と三段論法、ド・モルガンの法則、論理と集合) 2 集合の要素(ベン図、キャロル表、交わりの最小値) 3 順序(順序の確定、順序の変動) 4 順序(順序の数値条件、時計のずれ) 5 位置・方位(位置・座席表、円卓・議長席・道をへだてて) 6 位置・方位(円卓・議長席・道をへだてて、方位・作図) 7 対応(対応関係、スケジュール表、対応の数値条件、やりとり) 8 勝敗(リーグ戦、トーナメント戦)・うそつき 9 暗号、推理・手順(他人の判断から判断する) 10 推理・手順(カードゲーム、石取りゲーム、てんびん、手順)
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	実践数的Ⅲ 空間把握・資料解釈	
実務家教員		
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修 B	
授業方法	講義	
授業時間	2 4 時間（1 単位）	
授業コマ数	1 2 コマ	
授業概要	数学的な基礎知識や空間把握能力を基に、問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	立体でも平面でも捉えられる力と、資料を読み解く力を短期間で習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	回転と軌跡（直線図形の回転と軌跡、円弧を含む図形の回転と軌跡）、道順・一筆書き・位相
	2	平面構成（折り紙）、平面構成（図形中の図形の数、平面図形の分割、平面図形の合成）
	3	正多面体（正多面体、展開図）、立体構成（サイコロ）
	4	立体構成（積木の問題、投影図、立体の切断）
	5	立体構成（回転体）、平面図形の計量（角度）
	6	平面図形の計量（平方根の計算、三平方の定理）
	7	平面図形の計量（相似比、面積比）
	8	平面図形の計量（面積比）
	9	平面図形の計量（円）
	10	平面図形の計量（扇形と移動図形）、立体図形の計量
	11	立体図形の計量、資料解釈（実数、割合・指数・前年比）
	12	立体図形の計量、資料解釈（増加率、いろいろな資料）
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容																				
授業科目	実践社会科学Ⅰ 政治																				
実務家教員																					
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科																				
履修年次	2年次																				
開講学期	前期																				
科目区分	必修B																				
授業方法	講義																				
授業時間	20時間(1単位)																				
授業コマ数	10コマ																				
授業概要	基本的人権など憲法の基礎知識から本試験レベルの実践的知識まで学ぶ																				
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習																				
達成目標	公務に必要な憲法の知識を短期間で習得する																				
教科書	デジタルテキスト																				
特記																					
授業計画	<table> <tr><td>1</td><td>政治の基本理念、国家論</td></tr> <tr><td>2</td><td>政治制度論</td></tr> <tr><td>3</td><td>基本的人権総論、包括的基本権</td></tr> <tr><td>4</td><td>自由権</td></tr> <tr><td>5</td><td>社会権</td></tr> <tr><td>6</td><td>国会の機構と運営</td></tr> <tr><td>7</td><td>内閣の機構と運営</td></tr> <tr><td>8</td><td>裁判所の機構と運営</td></tr> <tr><td>9</td><td>地方自治</td></tr> <tr><td>10</td><td>選挙制度</td></tr> </table>	1	政治の基本理念、国家論	2	政治制度論	3	基本的人権総論、包括的基本権	4	自由権	5	社会権	6	国会の機構と運営	7	内閣の機構と運営	8	裁判所の機構と運営	9	地方自治	10	選挙制度
1	政治の基本理念、国家論																				
2	政治制度論																				
3	基本的人権総論、包括的基本権																				
4	自由権																				
5	社会権																				
6	国会の機構と運営																				
7	内閣の機構と運営																				
8	裁判所の機構と運営																				
9	地方自治																				
10	選挙制度																				
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価																				
備考																					

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	実践社会科学Ⅱ 経済
実務家教員	
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修B
授業方法	講義
授業時間	24時間(1単位)
授業コマ数	12コマ
授業概要	財政政策・外国為替などの経済分野と労働問題などの社会分野の基礎知識と本試験レベルの実践的知識までを学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な経済と社会の知識を短期間で習得する
教科書	デジタルテキスト
特記	
授業計画	1 経済社会の変容、現代の企業 2 現代の市場 3 国民所得 4 経済成長と景気循環 5 通貨制度と金融政策 6 財政制度と財政政策 7 貿易と外国為替 8 日本経済の動向 9 国際経済の動向 10 社会理論、労働問題 11 社会保障、環境問題 12 国際関係、現代の諸相
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容																
授業科目	実践言語Ⅰ 文章理解・国語																
実務家教員																	
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科																
履修年次	2年次																
開講学期	前期																
科目区分	必修B																
授業方法	講義																
授業時間	15時間(1単位)																
授業コマ数	8コマ ※8コマ目のみ60分																
授業概要	文章読解と本試験レベルの実践的な国語を並行して進める																
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習																
達成目標	社会人として求められる読解力と国語力を短期間で身につける																
教科書	オリジナルテキスト																
特記																	
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>要旨把握1、文法1、四字熟語1、ことわざ1、文学史1</td></tr> <tr><td>2</td><td>要旨把握2、文法2、四字熟語2、ことわざ2、文学史2</td></tr> <tr><td>3</td><td>内容合致1、文法3、四字熟語3、ことわざ3、文学史3</td></tr> <tr><td>4</td><td>内容合致2、文法4、四字熟語4、ことわざ4、文学史4</td></tr> <tr><td>5</td><td>文章整序、文法5、四字熟語5、ことわざ5、文学史5</td></tr> <tr><td>6</td><td>空欄補充、文法6、四字熟語6、ことわざ6、文学史6</td></tr> <tr><td>7</td><td>演習問題、文法7、四字熟語7、ことわざ7、文学史7</td></tr> <tr><td>8</td><td>文法8、四字熟語8、ことわざ8、文学史8</td></tr> </table>	1	要旨把握1、文法1、四字熟語1、ことわざ1、文学史1	2	要旨把握2、文法2、四字熟語2、ことわざ2、文学史2	3	内容合致1、文法3、四字熟語3、ことわざ3、文学史3	4	内容合致2、文法4、四字熟語4、ことわざ4、文学史4	5	文章整序、文法5、四字熟語5、ことわざ5、文学史5	6	空欄補充、文法6、四字熟語6、ことわざ6、文学史6	7	演習問題、文法7、四字熟語7、ことわざ7、文学史7	8	文法8、四字熟語8、ことわざ8、文学史8
1	要旨把握1、文法1、四字熟語1、ことわざ1、文学史1																
2	要旨把握2、文法2、四字熟語2、ことわざ2、文学史2																
3	内容合致1、文法3、四字熟語3、ことわざ3、文学史3																
4	内容合致2、文法4、四字熟語4、ことわざ4、文学史4																
5	文章整序、文法5、四字熟語5、ことわざ5、文学史5																
6	空欄補充、文法6、四字熟語6、ことわざ6、文学史6																
7	演習問題、文法7、四字熟語7、ことわざ7、文学史7																
8	文法8、四字熟語8、ことわざ8、文学史8																
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価																
備考																	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	実践演習Ⅰ 数的処理
実務家教員	
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2 年次
開講学期	前期
科目区分	必修 B
授業方法	演習
授業時間	2 4 時間 (1 単位)
授業コマ数	1 2 コマ
授業概要	基礎知識から実践的知識をアウトプットすることで知識の定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	身につけた解法や公式を基に、答えを導き出すことができる
教科書	スタンダード問題集
特記	
授業計画	1 数的推理総合演習 2 数的推理総合演習 3 数的推理総合演習 4 科目試験 1 5 判断推理総合演習 6 判断推理総合演習 7 判断推理総合演習 8 科目試験 2 9 図形・資料解釈総合演習 10 図形・資料解釈総合演習 11 図形・資料解釈総合演習 12 科目試験 3
成績評価方法 (試験実施方法)	応用的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	実践演習Ⅱ 社会科学
実務家教員	
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	必修B
授業方法	演習
授業時間	28時間(1単位)
授業コマ数	14コマ
授業概要	政治・経済の基礎知識から実践的知識をアウトプットすることで定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	社会科学分野におけるより幅広い知識の定着
教科書	スタンダード問題集
特記	
授業計画	1 政治の基本理念、政治制度論 2 基本的人権 3 国会の機構と運営 4 内閣の機構と運営 5 裁判所の機構と運営 6 地方自治、選挙制度 7 現代の企業、現代の市場 8 国民所得 9 通貨制度と金融政策 10 財政制度と財政政策 11 貿易と外国為替 12 社会総合1 13 社会総合2 14 科目試験
成績評価方法 (試験実施方法)	応用的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容																																																
授業科目	実践答案練習 I																																																
実務家教員																																																	
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科																																																
履修年次	2 年次																																																
開講学期	前期																																																
科目区分	必修 B																																																
授業方法	演習																																																
授業時間	4 8 時間（2 単位）																																																
授業コマ数	2 4 コマ																																																
授業概要	模擬試験を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ																																																
授業の進め方	2 時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示する																																																
達成目標	19 回目以降の模擬試験で全問題の半数以上の正解を目標とする																																																
教科書	模擬試験																																																
特記																																																	
授業計画	<table> <tr><td>1</td><td>基礎的なレベルの模擬試験 1</td></tr> <tr><td>2</td><td>基礎的なレベルの模擬試験 2</td></tr> <tr><td>3</td><td>基礎的なレベルの模擬試験 3</td></tr> <tr><td>4</td><td>基礎的なレベルの模擬試験 4</td></tr> <tr><td>5</td><td>海上保安学校タイプの模擬試験</td></tr> <tr><td>6</td><td>基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 1</td></tr> <tr><td>7</td><td>自衛官タイプの模擬試験</td></tr> <tr><td>8</td><td>基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 2</td></tr> <tr><td>9</td><td>基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 3</td></tr> <tr><td>10</td><td>基礎的なレベルの模擬試験 6</td></tr> <tr><td>11</td><td>国家公務員タイプの模擬試験 1</td></tr> <tr><td>12</td><td>基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 4</td></tr> <tr><td>13</td><td>基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 5</td></tr> <tr><td>14</td><td>国家公務員タイプの模擬試験 2</td></tr> <tr><td>15</td><td>国家公務員タイプの模擬試験 3</td></tr> <tr><td>16</td><td>国家公務員タイプの模擬試験 4</td></tr> <tr><td>17</td><td>国家公務員タイプの模擬試験 5</td></tr> <tr><td>18</td><td>地方公務員タイプの模擬試験 1</td></tr> <tr><td>19</td><td>基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 6</td></tr> <tr><td>20</td><td>警察官タイプの模擬試験</td></tr> <tr><td>21</td><td>基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 7</td></tr> <tr><td>22</td><td>地方公務員タイプの模擬試験 2</td></tr> <tr><td>23</td><td>地方公務員タイプの模擬試験 3</td></tr> <tr><td>24</td><td>地方公務員タイプの模擬試験 4</td></tr> </table>	1	基礎的なレベルの模擬試験 1	2	基礎的なレベルの模擬試験 2	3	基礎的なレベルの模擬試験 3	4	基礎的なレベルの模擬試験 4	5	海上保安学校タイプの模擬試験	6	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 1	7	自衛官タイプの模擬試験	8	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 2	9	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 3	10	基礎的なレベルの模擬試験 6	11	国家公務員タイプの模擬試験 1	12	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 4	13	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 5	14	国家公務員タイプの模擬試験 2	15	国家公務員タイプの模擬試験 3	16	国家公務員タイプの模擬試験 4	17	国家公務員タイプの模擬試験 5	18	地方公務員タイプの模擬試験 1	19	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 6	20	警察官タイプの模擬試験	21	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 7	22	地方公務員タイプの模擬試験 2	23	地方公務員タイプの模擬試験 3	24	地方公務員タイプの模擬試験 4
1	基礎的なレベルの模擬試験 1																																																
2	基礎的なレベルの模擬試験 2																																																
3	基礎的なレベルの模擬試験 3																																																
4	基礎的なレベルの模擬試験 4																																																
5	海上保安学校タイプの模擬試験																																																
6	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 1																																																
7	自衛官タイプの模擬試験																																																
8	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 2																																																
9	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 3																																																
10	基礎的なレベルの模擬試験 6																																																
11	国家公務員タイプの模擬試験 1																																																
12	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 4																																																
13	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 5																																																
14	国家公務員タイプの模擬試験 2																																																
15	国家公務員タイプの模擬試験 3																																																
16	国家公務員タイプの模擬試験 4																																																
17	国家公務員タイプの模擬試験 5																																																
18	地方公務員タイプの模擬試験 1																																																
19	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 6																																																
20	警察官タイプの模擬試験																																																
21	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験 7																																																
22	地方公務員タイプの模擬試験 2																																																
23	地方公務員タイプの模擬試験 3																																																
24	地方公務員タイプの模擬試験 4																																																
成績評価方法 (試験実施方法)	第1回から第18回までは模擬試験の取り組み姿勢、第19回から第24回までは模擬試験成績にて評価																																																
備考	模擬試験のタイプ・順序は変更することがある																																																

授業概要(シラバス)

タイトル	内容																														
授業科目	公務員時事対策																														
実務家教員																															
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科																														
履修年次	2 年次																														
開講学期	前期																														
科目区分	必修 B																														
授業方法	講義																														
授業時間	30 時間 (1 単位)																														
授業コマ数	15 コマ																														
授業概要	国内問題・国際問題問わず幅広いジャンルの社会時事を学ぶ																														
授業の進め方	重要な時事ワードを軸に内容を解説し、問題演習を行う																														
達成目標	現代社会の幅広い知識を身につける																														
教科書	オリジナルテキスト																														
特記																															
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>時事 (政治分野 1)</td></tr> <tr><td>2</td><td>時事 (政治分野 2)</td></tr> <tr><td>3</td><td>時事 (政治分野 3)</td></tr> <tr><td>4</td><td>時事 (経済分野 1)</td></tr> <tr><td>5</td><td>時事 (経済分野 2)</td></tr> <tr><td>6</td><td>時事 (文化 1)</td></tr> <tr><td>7</td><td>時事 (文化 2)</td></tr> <tr><td>8</td><td>時事 (文化 3)</td></tr> <tr><td>9</td><td>時事 (科学 1)</td></tr> <tr><td>10</td><td>時事 (科学 2)</td></tr> <tr><td>11</td><td>時事 (科学 3)</td></tr> <tr><td>12</td><td>時事 (科学 4)</td></tr> <tr><td>13</td><td>時事 (国際問題 1)</td></tr> <tr><td>14</td><td>時事 (国際問題 2)</td></tr> <tr><td>15</td><td>時事 (科目試験)</td></tr> </table>	1	時事 (政治分野 1)	2	時事 (政治分野 2)	3	時事 (政治分野 3)	4	時事 (経済分野 1)	5	時事 (経済分野 2)	6	時事 (文化 1)	7	時事 (文化 2)	8	時事 (文化 3)	9	時事 (科学 1)	10	時事 (科学 2)	11	時事 (科学 3)	12	時事 (科学 4)	13	時事 (国際問題 1)	14	時事 (国際問題 2)	15	時事 (科目試験)
1	時事 (政治分野 1)																														
2	時事 (政治分野 2)																														
3	時事 (政治分野 3)																														
4	時事 (経済分野 1)																														
5	時事 (経済分野 2)																														
6	時事 (文化 1)																														
7	時事 (文化 2)																														
8	時事 (文化 3)																														
9	時事 (科学 1)																														
10	時事 (科学 2)																														
11	時事 (科学 3)																														
12	時事 (科学 4)																														
13	時事 (国際問題 1)																														
14	時事 (国際問題 2)																														
15	時事 (科目試験)																														
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストの得点を中心に取り組み姿勢を含めて総合的に評価																														
備考																															

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	実践数的IV 数的総合
実務家教員	
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択B
授業方法	演習
授業時間	40時間(2単位)
授業コマ数	20コマ
授業概要	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	数的推理・判断推理の基礎知識を定着させ、応用問題も解答できるようにする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 方程式 2 方程式 3 整数・計算パズル 4 整数・計算パズル 5 割合と比 6 割合と比 7 速さ 8 速さ 9 仕事算 10 場合の数 11 確率 12 論理 13 集合の要素 14 順序 15 順序 16 位置・方位 17 対応 18 勝敗・うそつき 19 暗号、推理・手順 20 科目試験
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験の得点、授業への取り組み姿勢を総合的に評価
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	実践人文科学Ⅰ 地理	
実務家教員		
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義	
授業時間	20時間（1単位）	
授業コマ数	10コマ	
授業概要	気候や各国の産業などの基礎知識と本試験レベルの実践的知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な地理の知識を短期間で習得する	
教科書	デジタルテキスト	
特記		
授業計画	1	世界の地形
	2	世界の気候
	3	世界の農業
	4	世界の資源
	5	世界の工業
	6	地図の特色と利用
	7	生活と地域
	8	日本地誌
	9	世界地誌（アジア、アフリカ）
	10	世界地誌（ヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニア）
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	実践人文科学Ⅱ 歴史
実務家教員	
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択B
授業方法	講義
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ
授業概要	大和政権から昭和までの日本史と中国の歴史を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な日本および中国の歴史の知識を短期間で習得する
教科書	デジタルテキスト
特記	
授業計画	1 大和政権と大化の改新 2 平安時代 3 鎌倉時代 4 室町時代 5 封建社会の確立 6 江戸時代(武断政治、文治政治、三大改革) 7 江戸時代(幕末)、明治維新 8 立憲体制の確立 9 近代文化の発展 10 大正、昭和 11 中国史1(殷～漢) 12 中国史2(魏晉南北朝～隋、唐) 13 中国史3(宋、元) 14 中国史4(明、清) 15 中国史5(清の崩壊、中華民国)
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	実践自然科学Ⅰ 生物・地学	
実務家教員		
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義	
授業時間	28時間(1単位)	
授業コマ数	14コマ	
授業概要	生体から自然環境までの生物分野、地球の内部構造から宇宙までの地学分野を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な生物・地学の知識を短期間で習得する	
教科書	デジタルテキスト	
特記		
授業計画	1 生体の構造 2 生体内の代謝 3 生殖と発生 4 遺伝と変異 5 刺激の受容と反応 6 内部環境の恒常性と調節 7 生物の集団 8 生物の進化と系統 9 地球の姿と動く大地 10 岩石 11 大気と海洋Ⅰ 12 大気と海洋Ⅱ 13 太陽系と宇宙の構造Ⅰ 14 太陽系と宇宙の構造Ⅱ、地球と人類	
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	実践自然科学Ⅱ 物理・化学	
実務家教員		
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択 B	
授業方法	講義	
授業時間	2 8 時間（1 単位）	
授業コマ数	1 4 コマ	
授業概要	物理分野は基本的な公式を覚え、運動・熱・電気などの仕組みを学び、化学分野は物質の仕組みや物質の変化を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な物理・化学の知識を短期間で習得する	
教科書	デジタルテキスト	
特記		
授業計画	1	運動の表現
	2	力
	3	運動方程式
	4	エネルギー
	5	運動量、熱
	6	波動、原子
	7	電気
	8	物質の構造 1
	9	物質の構造 2
	10	物質の状態 1
	11	物質の状態 2
	12	物質の変化 1
	13	物質の変化 2
	14	無機化合物
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	実践演習Ⅲ 人文科学	
実務家教員		
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択 B	
授業方法	演習	
授業時間	2 4 時間（1 単位）	
授業コマ数	1 2 コマ	
授業概要	地理・歴史・倫理の基礎知識から実践的知識をアウトプットすることで定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	人文科学分野におけるより幅広い知識の定着	
教科書	スタンダード問題集（第4講～第12講）・デジタルテキスト（第1講～第3講）	
特記		
授業計画	1	倫理 1
	2	倫理 2
	3	倫理 3
	4	日本史 1
	5	日本史 2
	6	日本史 3
	7	世界史 1
	8	世界史 2
	9	地理 1
	10	地理 2
	11	地理 3
	12	地理 4 ・ 科目試験
成績評価方法 (試験実施方法)	応用的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	実践演習Ⅳ 自然科学	
実務家教員		
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択 B	
授業方法	演習	
授業時間	1 6 時間（1 単位）	
授業コマ数	8 コマ	
授業概要	生物・地学の基礎知識をアウトプットすることで知識の定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	一般教養として必要な自然科学分野の基礎知識の定着	
教科書	スタンダード問題集、デジタルテキスト	
特記		
授業計画	1	生体の構造、生体内の代謝
	2	生殖と発生、遺伝と変異
	3	刺激の受容と反応
	4	内部環境の恒常性と調整
	5	生物の集団、生物の進化と系統
	6	地球の姿と動く大地・岩石
	7	大気と海洋、太陽系と宇宙の構造
	8	地球と人類
成績評価方法 (試験実施方法)	全ジャンルから100問を抜粋した試験を軸に、授業参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	基礎自然科学総合	
実務家教員		
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択 B	
授業方法	講義	
授業時間	2 0 時間（1 単位）	
授業コマ数	1 0 コマ	
授業概要	理数系科目の基礎を幅広く総合的に学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る	
教科書	デジタルテキスト	
特記		
授業計画	1	運動の表現、
	2	力
	3	運動方程式、エネルギー
	4	運動量、電気
	5	波動
	6	物質の構造 1
	7	物質の構造 2、物質の状態
	8	物質の変化 1
	9	物質の変化 2、有機化合物
	10	無機化合物
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	公務員教養論作文対策
実務家教員	
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2 年次
開講学期	前期
科目区分	選択 B
授業方法	演習
授業時間	3 0 時間（2 単位）
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	公務員初級試験を見据えての文章作成スキルの習得
授業の進め方	レクチャーの後、テーマを与え実践し提出、必要に応じ添削を行う
達成目標	時間内に正しい文章構成で分かりやすい文章を作成する能力を身につける
教科書	デジタルテキスト
特記	
授業計画	1 論作文の書き方と正しい用紙の使い方 2 試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習 1 3 試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習 2 4 試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習 3 5 試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習 4 6 作文練習 1 7 作文練習 2 8 作文練習 3 9 作文練習 4 10 作文練習 5 11 作文練習 6 12 作文練習 7 13 作文練習 8 14 作文練習 9 15 作文練習 1 0
成績評価方法 (試験実施方法)	提出した作文の完成度を中心に、取り組み姿勢を含めて総合的に評価
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	実践答案練習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択B
授業方法	演習
授業時間	90時間(3単位)
授業コマ数	45コマ
授業概要	模擬試験を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示する
達成目標	実践的な問題を含む5模擬試験で正答率6割以上を取得する
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	1 過去問タイプの模擬試験1 2 過去問タイプの模擬試験2 3 過去問タイプの模擬試験1・2復習 4 過去問タイプの模擬試験3 5 過去問タイプの模擬試験4 6 過去問タイプの模擬試験3・4復習 7 過去問タイプの模擬試験5 8 過去問タイプの模擬試験6 9 過去問タイプの模擬試験5・6復習 10 過去問タイプの模擬試験7 11 過去問タイプの模擬試験8 12 過去問タイプの模擬試験7・8復習 13 過去問タイプの模擬試験9 14 過去問タイプの模擬試験10 15 過去問タイプの模擬試験9・10復習 16 過去問タイプの模擬試験11 17 過去問タイプの模擬試験12 18 過去問タイプの模擬試験11・12復習 19 過去問タイプの模擬試験13 20 過去問タイプの模擬試験14 21 過去問タイプの模擬試験13・14復習 22 過去問タイプの模擬試験15 23 過去問タイプの模擬試験16 24 過去問タイプの模擬試験15・16復習 25 過去問タイプの模擬試験17 26 過去問タイプの模擬試験18 27 過去問タイプの模擬試験17・18復習 28 過去問タイプの模擬試験19 29 過去問タイプの模擬試験20 30 過去問タイプの模擬試験19・20復習 31 過去問タイプの模擬試験21 32 過去問タイプの模擬試験22 33 過去問タイプの模擬試験21・22復習 34 過去問タイプの模擬試験23 35 過去問タイプの模擬試験24 36 過去問タイプの模擬試験23・24復習 37 過去問タイプの模擬試験25 38 過去問タイプの模擬試験26 39 過去問タイプの模擬試験25・26復習 40 過去問タイプの模擬試験27 41 過去問タイプの模擬試験28 42 過去問タイプの模擬試験27・28復習 43 過去問タイプの模擬試験29 44 過去問タイプの模擬試験30 45 過去問タイプの模擬試験29・30復習
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点ならびに課題で評価
備考	模擬試験のタイプ・順序は変更することがある

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	直前答案練習 I
実務家教員	
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2 年次
開講学期	前期
科目区分	選択 B
授業方法	演習
授業時間	1 0 8 時間（4 単位）
授業コマ数	5 4 コマ
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	2 時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	1・2 実戦的なタイプの模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説・復習 3・4 実戦的なタイプの模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説・復習 5・6 実戦的なタイプの模擬試験 3 ・当該模擬試験の解説・復習 7・8 実戦的なタイプの模擬試験 4 ・当該模擬試験の解説・復習 9・10 実戦的なタイプの模擬試験 5 ・当該模擬試験の解説・復習 11・12 実戦的なタイプの模擬試験 6 ・当該模擬試験の解説・復習 13・14 国家公務員タイプの模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説・復習 15・16 実戦的なタイプの模擬試験 7 ・当該模擬試験の解説・復習 17・18 実戦的なタイプの模擬試験 8 ・当該模擬試験の解説・復習 19・20 地方公務員タイプの模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説・復習 21・22 地方公務員タイプの模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説・復習 23・24 地方公務員タイプの模擬試験 3 ・当該模擬試験の解説・復習 25・26 国家公務員タイプの模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説・復習 27・28 地方公務員タイプの模擬試験 4 ・当該模擬試験の解説・復習 29・30 国家公務員タイプの模擬試験 3 ・当該模擬試験の解説・復習 31・32 国家公務員タイプの模擬試験 4 ・当該模擬試験の解説・復習 33・34 国家公務員タイプの模擬試験 5 ・当該模擬試験の解説・復習 35・36 地方公務員タイプの模擬試験 5 ・当該模擬試験の解説・復習 37・38 地方公務員タイプの模擬試験 6 ・当該模擬試験の解説・復習 39・40 実戦的なタイプの模擬試験 9 ・当該模擬試験の解説・復習 41・42 警察官タイプの模擬試験 ・当該模擬試験の解説・復習 43・44 実戦的なタイプの模擬試験 1 0 ・当該模擬試験の解説・復習 45・46 地方公務員タイプの模擬試験 7 ・当該模擬試験の解説・復習 47・48 地方公務員タイプの模擬試験 8 ・当該模擬試験の解説・復習 49・50 地方公務員タイプの模擬試験 9 ・当該模擬試験の解説・復習 51・52 地方公務員タイプの模擬試験 1 0 ・当該模擬試験の解説・復習 53・54 地方公務員タイプの模擬試験 1 1 ・当該模擬試験の解説・復習
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価
備考	模擬試験のタイプ・順序は変更することがある

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	直前答案練習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択B
授業方法	演習
授業時間	102時間(4単位)
授業コマ数	51コマ
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	1 過去問タイプの模擬試験1 2・3 過去問タイプの模擬試験2・当該模擬試験の解説 4・5 過去問タイプの模擬試験3・当該模擬試験の解説 6・7 過去問タイプの模擬試験4・当該模擬試験の解説 8・9 過去問タイプの模擬試験5・当該模擬試験の解説 10・11 過去問タイプの模擬試験6・当該模擬試験の解説 12・13 過去問タイプの模擬試験7・当該模擬試験の解説 14・15 過去問タイプの模擬試験8・当該模擬試験の解説 16・17 過去問タイプの模擬試験9・当該模擬試験の解説 18・19 過去問タイプの模擬試験10・当該模擬試験の解説 20・21 過去問タイプの模擬試験11・当該模擬試験の解説 22・23 過去問タイプの模擬試験12・当該模擬試験の解説 24・25 過去問タイプの模擬試験13・当該模擬試験の解説 26・27 過去問タイプの模擬試験14・当該模擬試験の解説 28・29 過去問タイプの模擬試験15・当該模擬試験の解説 30・31 過去問タイプの模擬試験16・当該模擬試験の解説 32・33 過去問タイプの模擬試験17・当該模擬試験の解説 34・35 過去問タイプの模擬試験18・当該模擬試験の解説 36・37 過去問タイプの模擬試験19・当該模擬試験の解説 38・39 過去問タイプの模擬試験20・当該模擬試験の解説 40・41 過去問タイプの模擬試験21・当該模擬試験の解説 42・43 過去問タイプの模擬試験22・当該模擬試験の解説 44・45 過去問タイプの模擬試験23・当該模擬試験の解説 46・47 過去問タイプの模擬試験24・当該模擬試験の解説 48・49 過去問タイプの模擬試験25・当該模擬試験の解説 50・51 過去問タイプの模擬試験26・当該模擬試験の解説
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点ならびに課題で評価
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	直前答案練習Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2 年次
開講学期	後期
科目区分	選択 B
授業方法	演習
授業時間	3 0 時間（1 単位）
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	2 時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	総合的なレベルの模擬試験で正答率6割以上を取得する
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	1 総合的なタイプの模擬試験 1 2 模擬試験 1 の解説 3 総合的なレベルの模擬試験 2 4 模擬試験 2 の解説 5 総合的なレベルの模擬試験 3 6 模擬試験 3 の解説 7 総合的なレベルの模擬試験 4 8 模擬試験 4 の解説 9 総合的なレベルの模擬試験 5 10 模擬試験 5 の解説 11 総合的なレベルの模擬試験 6 12 模擬試験 6 の解説 13 総合的なレベルの模擬試験 7 14 模擬試験 7 の解説 15 総合的なレベルの模擬試験 8
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点ならびに課題で評価
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容		
授業科目	公務員時事研究		
実務家教員			
学部・学科	文化教養専門課程　スポーツ産業学科		
履修年次	2 年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択 B		
授業方法	演習		
授業時間	3 0 時間（1 単位）		
授業コマ数	1 5 コマ		
授業概要	就職先に関連する社会的ニュースを考察する		
授業の進め方	新聞やインターネットの情報を取得し、調査の上で意見・感想をまとめる		
達成目標	就職先およびその業務に関わる知識を身につける		
教科書	なし		
特記			
授業計画	1	情報収集と考察	テーマ 1
	2	情報収集と考察	テーマ 2
	3	情報収集と考察	テーマ 3
	4	情報収集と考察	テーマ 4
	5	情報収集と考察	テーマ 5
	6	情報収集と考察	テーマ 6
	7	情報収集と考察	テーマ 7
	8	情報収集と考察	テーマ 8
	9	情報収集と考察	テーマ 9
	10	情報収集と考察	テーマ 1 0
	11	情報収集と考察	テーマ 1 1
	12	情報収集と考察	テーマ 1 2
	13	情報収集と考察	テーマ 1 3
	14	情報収集と考察	テーマ 1 4
	15	情報収集と考察	テーマ 1 5
成績評価方法 (試験実施方法)	提出物の内容进行评估		
備考			

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	公務員キャリアデザイン基礎
実務家教員	
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	選択B
授業方法	演習
授業時間	90時間（3単位）
授業コマ数	45コマ
授業概要	効果測定を通して面接の基礎を修得し、4試験種に向けた面接指導を行う
授業の進め方	職種研究およびグループ単位で面接を実施・見学、修正を行い反復する
達成目標	誰から見ても好印象で、自分の良さが伝わるコミュニケーションができる
教科書	公務員ガイドブック・デジタルテキスト
特記	
授業計画	1 公務員全般ガイダンス 2 公務員職種別ガイダンス 3 面接の基本 4 公務員試験研究 5 入退室の仕方、身嗜みチェック 6 面接効果測定1（初級効果測定） 7 自己分析 8 面接質問項目（想定質問） 9 自己PR作成 10 受験先研究 11 志望動機作成 12-13 集団討論対策 14 効果測定準備 15 面接効果測定2（中級効果測定） 16-23 職種別試験ガイダンス 24-25 官庁研究 26-27 模擬面接準備（試験種Ⅰ） 28-30 模擬面接（試験種Ⅰ） 31-32 模擬面接準備（試験種Ⅱ） 23-35 模擬面接（試験種Ⅱ） 36-37 模擬面接準備（試験種Ⅲ） 38-40 模擬面接（試験種Ⅲ） 41-42 模擬面接準備（試験種Ⅳ） 43-45 模擬面接（試験種Ⅳ）
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定および授業への参加姿勢で評価
備考	授業実施順序は入替をすることがある

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	公務員適性検査演習 I
実務家教員	
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2 年次
開講学期	前期
科目区分	選択 B
授業方法	演習
授業時間	6 0 時間（2 単位）
授業コマ数	3 0 コマ
授業概要	公務員試験で重視される事務適性試験の得点力を強化する
授業の進め方	1回15分程度の問題演習と検証を繰り返し行う
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 適性試験練習 1 2 適性試験練習 2 3 適性試験練習 3 4 適性試験練習 4 5 適性試験練習 5 6 適性試験練習 6 7 適性試験練習 7 8 適性試験練習 8 9 適性試験練習 9 10 適性試験練習 1 0 11 適性試験練習 1 1 12 適性試験練習 1 2 13 適性試験練習 1 3 14 適性試験練習 1 4 15 適性試験練習 1 5 16 適性試験練習 1 6 17 適性試験練習 1 7 18 適性試験練習 1 8 19 模擬試験（適性試験） 1 20 模擬試験（適性試験） 2 21 模擬試験（適性試験） 3 22 模擬試験（適性試験） 4 23 模擬試験（適性試験） 5 24 模擬試験（適性試験） 6 25 模擬試験（適性試験） 7 26 模擬試験（適性試験） 8 27 模擬試験（適性試験） 9 28 模擬試験（適性試験） 1 0 29 模擬試験（適性試験） 1 1 30 模擬試験（適性試験） 1 2
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験における得点で評価
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	公務員適性検査演習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択B
授業方法	演習
授業時間	40時間(2単位)
授業コマ数	20コマ
授業概要	公務員試験で重視される事務適性試験の得点力を強化する
授業の進め方	適性試験の解き方を学び、1回15分程度の問題演習と検証を繰り返し行う
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 適性試験練習1 2 適性試験練習2 3 適性試験練習3 4 適性試験練習4 5 適性試験練習5 6 適性試験練習6 7 適性試験練習7 8 適性試験練習8 9 適性試験練習9 10 適性試験練習10 11 適性試験練習11 12 適性試験練習12 13 適性試験練習13 14 適性試験練習14 15 適性試験練習15 16 適性試験練習16 17 適性試験練習17 18 適性試験練習18 19 適性試験練習19 20 適性試験練習20
成績評価方法 (試験実施方法)	練習課題における得点で評価
備考	適性試験練習には一部模擬試験タイプを含む

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	公務員就職試験対策演習	
実務家教員		
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択 B	
授業方法	演習	
授業時間	3 0 時間（1 単位）	
授業コマ数	1 5 コマ	
授業概要	多様化する公務員試験に対応するための一般教養力の習得	
授業の進め方	基礎的な解答方法を学んだ後、問題演習と検証を繰り返し行う	
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける	
教科書	テキスト	
特記		
授業計画	1	適性検査練習 1
	2	適性検査練習 2
	3	適性検査練習 3
	4	適性検査練習 4
	5	適性検査練習 5
	6	適性検査練習 6
	7	適性検査練習 7
	8	適性検査練習 8
	9	適性検査練習 9
	10	適性検査練習 1 0
	11	適性検査練習 1 1
	12	適性検査練習 1 2
	13	適性検査練習 1 3
	14	適性検査練習 1 4
	15	適性検査練習 1 5
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容																														
授業科目	トレーニング実習																														
実務家教員																															
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科																														
履修年次	2 年次																														
開講学期	通年																														
科目区分	選択 B																														
授業方法	実習																														
授業時間	3 0 時間（1 単位）																														
授業コマ数	1 5 コマ																														
授業概要	トレーニング関連の講義から得た知識を活かした実習を行う																														
授業の進め方	精通者による講義を受け、その後筋力トレーニング・ストレッチ運動・集団演技などの実習を行う																														
達成目標	トレーニングを通して、公安職に最低限必要な体力を養う																														
教科書	なし																														
特記																															
授業計画	<table> <tr><td>1</td><td>公安職種の体力試験に関する研究</td></tr> <tr><td>2</td><td>筋力トレーニング 1</td></tr> <tr><td>3</td><td>筋力トレーニング 2</td></tr> <tr><td>4</td><td>筋力トレーニング 3</td></tr> <tr><td>5</td><td>筋力トレーニング 4</td></tr> <tr><td>6</td><td>筋力トレーニング 5</td></tr> <tr><td>7</td><td>筋力トレーニング 6</td></tr> <tr><td>8</td><td>筋力トレーニング 7</td></tr> <tr><td>9</td><td>集団演技 1</td></tr> <tr><td>10</td><td>集団演技 2</td></tr> <tr><td>11</td><td>集団演技 3</td></tr> <tr><td>12</td><td>集団演技 4</td></tr> <tr><td>13</td><td>集団演技 5</td></tr> <tr><td>14</td><td>集団演技 6</td></tr> <tr><td>15</td><td>集団演技 7</td></tr> </table>	1	公安職種の体力試験に関する研究	2	筋力トレーニング 1	3	筋力トレーニング 2	4	筋力トレーニング 3	5	筋力トレーニング 4	6	筋力トレーニング 5	7	筋力トレーニング 6	8	筋力トレーニング 7	9	集団演技 1	10	集団演技 2	11	集団演技 3	12	集団演技 4	13	集団演技 5	14	集団演技 6	15	集団演技 7
1	公安職種の体力試験に関する研究																														
2	筋力トレーニング 1																														
3	筋力トレーニング 2																														
4	筋力トレーニング 3																														
5	筋力トレーニング 4																														
6	筋力トレーニング 5																														
7	筋力トレーニング 6																														
8	筋力トレーニング 7																														
9	集団演技 1																														
10	集団演技 2																														
11	集団演技 3																														
12	集団演技 4																														
13	集団演技 5																														
14	集団演技 6																														
15	集団演技 7																														
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、出席状況によって評価																														
備考																															

授業概要(シラバス)

タイトル	内容																
授業科目	職業実務 I																
実務家教員	○																
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科																
履修年次	2 年次																
開講学期	通年																
科目区分	選択 B																
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目）																
授業時間	1 5 時間（1 単位）																
授業コマ数	8 コマ ※8 コマ目のみ 6 0 分																
授業概要	官公庁等から講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官公庁・法律研究を行う																
授業の進め方	官公庁からお招きした講師による講義を受け、各自研究課題を作成する																
達成目標	官公庁研究を通して、公務員の仕事内容や業務に関係する法律基礎知識を理解する																
教科書	なし																
特記	有識者（公務員または法律実務家）による講義を基にした演習																
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>実務経験者（公務員）における講義</td></tr> <tr><td>2</td><td>官公庁研究</td></tr> <tr><td>3</td><td>レポート作成1</td></tr> <tr><td>4</td><td>レポート作成2</td></tr> <tr><td>5</td><td>実務経験者（法律実務家）における講義</td></tr> <tr><td>6</td><td>法律研究</td></tr> <tr><td>7</td><td>レポート作成1</td></tr> <tr><td>8</td><td>レポート作成2</td></tr> </table>	1	実務経験者（公務員）における講義	2	官公庁研究	3	レポート作成1	4	レポート作成2	5	実務経験者（法律実務家）における講義	6	法律研究	7	レポート作成1	8	レポート作成2
1	実務経験者（公務員）における講義																
2	官公庁研究																
3	レポート作成1																
4	レポート作成2																
5	実務経験者（法律実務家）における講義																
6	法律研究																
7	レポート作成1																
8	レポート作成2																
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度																
備考	特記に記載した官公庁は年度により変更する場合がある																

授業概要(シラバス)

タイトル	内容																
授業科目	職業実務Ⅱ																
実務家教員	○																
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科																
履修年次	2年次																
開講学期	通年																
科目区分	選択B																
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）																
授業時間	15時間（1単位）																
授業コマ数	8コマ ※8コマ目のみ60分																
授業概要	公務員に関する講義を行い、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う																
授業の進め方	講義後、各自研究課題を作成し、プレゼンテーションを行う																
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事を理解する																
教科書	なし																
特記	公務員関連業界の方を招聘し、講義を行う場合がある																
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>公務員に関する講義1</td></tr> <tr><td>2</td><td>個人研究</td></tr> <tr><td>3</td><td>グループワーク1</td></tr> <tr><td>4</td><td>グループワーク2</td></tr> <tr><td>5</td><td>グループワーク3</td></tr> <tr><td>6</td><td>グループワーク4</td></tr> <tr><td>7</td><td>公務員に関する講義2（プレゼンテーション・総評）</td></tr> <tr><td>8</td><td>振り返り</td></tr> </table>	1	公務員に関する講義1	2	個人研究	3	グループワーク1	4	グループワーク2	5	グループワーク3	6	グループワーク4	7	公務員に関する講義2（プレゼンテーション・総評）	8	振り返り
1	公務員に関する講義1																
2	個人研究																
3	グループワーク1																
4	グループワーク2																
5	グループワーク3																
6	グループワーク4																
7	公務員に関する講義2（プレゼンテーション・総評）																
8	振り返り																
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度																
備考																	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容																
授業科目	職業実務Ⅲ																
実務家教員	○																
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科																
履修年次	2年次																
開講学期	通年																
科目区分	選択B																
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）																
授業時間	15時間（1単位）																
授業コマ数	8コマ（1コマ120分、最終コマのみ60分）																
授業概要	官公庁(国家省庁等)から講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う。																
授業の進め方	実務経験者（国家省庁等）による講義を受け、各自研究課題を作成する																
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する																
教科書	なし																
特記	実務経験者（国家省庁）による講義を基にした演習																
授業計画	<table> <tr><td>1</td><td>官庁訪問の仕組み</td></tr> <tr><td>2</td><td>省庁の仕事内容</td></tr> <tr><td>3</td><td>官公庁講義1</td></tr> <tr><td>4</td><td>官公庁講義2</td></tr> <tr><td>5</td><td>官公庁講義3</td></tr> <tr><td>6</td><td>研究レポートの作成</td></tr> <tr><td>7</td><td>研究レポートの作成</td></tr> <tr><td>8</td><td>レポートの検証</td></tr> </table>	1	官庁訪問の仕組み	2	省庁の仕事内容	3	官公庁講義1	4	官公庁講義2	5	官公庁講義3	6	研究レポートの作成	7	研究レポートの作成	8	レポートの検証
1	官庁訪問の仕組み																
2	省庁の仕事内容																
3	官公庁講義1																
4	官公庁講義2																
5	官公庁講義3																
6	研究レポートの作成																
7	研究レポートの作成																
8	レポートの検証																
成績評価方法 (試験実施方法)	研究レポートの完成度によって評価																
備考																	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	職業実務Ⅳ
実務家教員	○
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	選択B
授業方法	演習
授業時間	15時間(1単位)
授業コマ数	8コマ(1コマ120分、最終コマのみ60分)
授業概要	実務経験の豊富な講師をお招きし、その講義から得た知識を基に消防官職種研究を行う
授業の進め方	実務経験者(消防官)による講義を受け、各自研究課題を作成する
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する
教科書	なし
特記	元横浜消防教官鎌田氏による消防及び公安職に関する研究
授業計画	1 消防官の仕事内容 2 実務者講義1(消防官に求められる資質) 3 研究レポート(消防官に求められる資質) 4 実務者講義2(自助・共助・公助) 5 研究レポート(自助・共助・公助) 6 実務者講義3(消防と我が人生) 7 研究レポート(消防と我が人生) 8 レポートの検証
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容																
授業科目	職業実務Ⅴ																
実務家教員	○																
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科																
履修年次	2年次																
開講学期	通年																
科目区分	選択Ⅱ																
授業方法	演習																
授業時間	15時間（1単位）																
授業コマ数	8コマ ※8コマ目のみ60分																
授業概要	公務員公安職に関する講義（または演習・実習）を行い、その講義（演習・実習）から得た知識を基に官庁企業研究を行う																
授業の進め方	講義（演習・実習）後、各自研究課題を作成し、プレゼンテーションを行う																
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する																
教科書	なし																
特記	公務員公安職関係者を招聘し、講義・演習・実習を行う場合がある																
授業計画	<table border="1"> <tr> <td>1</td><td>公務員公安職における講義1（または演習・実習）</td></tr> <tr> <td>2</td><td>レポート作成1</td></tr> <tr> <td>3</td><td>レポート作成2</td></tr> <tr> <td>4</td><td>レポート作成3</td></tr> <tr> <td>5</td><td>公務員公安職における講義2（または演習・実習）</td></tr> <tr> <td>6</td><td>レポート作成1</td></tr> <tr> <td>7</td><td>レポート作成2</td></tr> <tr> <td>8</td><td>レポート作成3</td></tr> </table>	1	公務員公安職における講義1（または演習・実習）	2	レポート作成1	3	レポート作成2	4	レポート作成3	5	公務員公安職における講義2（または演習・実習）	6	レポート作成1	7	レポート作成2	8	レポート作成3
1	公務員公安職における講義1（または演習・実習）																
2	レポート作成1																
3	レポート作成2																
4	レポート作成3																
5	公務員公安職における講義2（または演習・実習）																
6	レポート作成1																
7	レポート作成2																
8	レポート作成3																
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度																
備考																	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	公官庁講話
実務家教員	○
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択B
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	20時間（1単位）
授業コマ数	10コマ
授業概要	現役公務員の様々な職種の方の講話を聴き職種への理解を深める
授業の進め方	現役公務員の話聞き、質疑応答や必要に応じレポートの記入をする
達成目標	希望職種のみならず幅広い職種を理解する
教科書	なし
特記	国家省庁、国家公安、地方行政、警察官、消防官など幅広い職種の現職公務員の実務経験に基づく講義
授業計画	1 職種別の業務内容、試験内容に関する講義 2 受験手続に関する講義 3 職種別ガイダンス1 4 職種別ガイダンス2 5 職種別ガイダンス3 6 日程別受験先選択の為の講義 7 職種別ガイダンス4 8 職種別ガイダンス5 9 職種別ガイダンス6 10 職種別ガイダンス7
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度などによって評価
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容																
授業科目	公務員倫理																
実務家教員	○																
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科																
履修年次	2 年次																
開講学期	通年																
科目区分	選択 B																
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）																
授業時間	1 5 時間（1 単位）																
授業コマ数	8 コマ ※最終コマのみ 6 0 分																
授業概要	公務人材開発協会より講師をお招きし、公務員に関する法令や服務規程を学ぶ																
授業の進め方	実務経験者による講義をもとに、各自研究課題を作成する																
達成目標	入庁前に公務員としての正しい心構えを身に付ける																
教科書	なし																
特記	公官庁の研修を多く手掛ける公務人材開発協会による講義と演習																
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>税制の理解①</td></tr> <tr><td>2</td><td>税制の理解②</td></tr> <tr><td>3</td><td>税制の理解③</td></tr> <tr><td>4</td><td>税制に関するレポート作成</td></tr> <tr><td>5</td><td>公務員の倫理と服務規程①</td></tr> <tr><td>6</td><td>公務員の倫理と服務規程②</td></tr> <tr><td>7</td><td>公務員の倫理と服務規程③</td></tr> <tr><td>8</td><td>服務規定に関するレポート作成</td></tr> </table>	1	税制の理解①	2	税制の理解②	3	税制の理解③	4	税制に関するレポート作成	5	公務員の倫理と服務規程①	6	公務員の倫理と服務規程②	7	公務員の倫理と服務規程③	8	服務規定に関するレポート作成
1	税制の理解①																
2	税制の理解②																
3	税制の理解③																
4	税制に関するレポート作成																
5	公務員の倫理と服務規程①																
6	公務員の倫理と服務規程②																
7	公務員の倫理と服務規程③																
8	服務規定に関するレポート作成																
成績評価方法 (試験実施方法)	提出レポートの完成度によって評価																
備考																	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ビジネス文書作成
実務家教員	
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2 年次
開講学期	通年
科目区分	選択 B
授業方法	講義
授業時間	3 0 時間（1 単位）
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	ビジネス文書を作成する上で必要となるレベルのWORDの操作方法を学ぶ
授業の進め方	基本的なレクチャーを受けながら実際に端末を操作する
達成目標	正しい日本語の使い方を理解し、ビジネス文書を作成出来るようになる
教科書	オリジナル教材
特記	
授業計画	1 文字入力的基础 1 2 ビジネス文書作成 1（案内文） 3 ビジネス文書作成 2（案内文） 4 ビジネス文書作成 3（送付状） 5 ビジネス文書作成 4（送付状） 6 ビジネス文書作成 5（社内文書） 7 ビジネス文書作成 6（社内文書） 8 ビジネス文書作成 7（表作成） 9 ビジネス文書作成 8（表作成） 10 ビジネス文書作成 9（文章と表の組み合わせ） 11 ビジネス文書作成 1 0（メール文章・メールの設定） 12 正しい日本語 1 13 正しい日本語 2 14 正しい日本語 3 15 正しい日本語 4
成績評価方法 (試験実施方法)	実技による課題の出来栄え、授業への参加姿勢で評価
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容																														
授業科目	公共ボランティア実習Ⅰ																														
実務家教員																															
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科																														
履修年次	2年次																														
開講学期	通年																														
科目区分	選択B																														
授業方法	実習																														
授業時間	30時間（1単位）																														
授業コマ数	15コマ																														
授業概要	ボランティアの基本的な在り方を学び、実習も踏まえて理解を深める																														
授業の進め方	座学を基に実際にボランティアを体験する																														
達成目標	知識と実体験により、ボランティアの実情など基礎的な知識を身に付ける																														
教科書	なし																														
特記																															
授業計画	<table> <tr><td>1</td><td>ボランティアの基礎知識</td></tr> <tr><td>2</td><td>自治体とボランティア</td></tr> <tr><td>3</td><td>ボランティア実体験①</td></tr> <tr><td>4</td><td>ボランティア実体験②</td></tr> <tr><td>5</td><td>ボランティア実体験③</td></tr> <tr><td>6</td><td>ボランティア実体験④</td></tr> <tr><td>7</td><td>ボランティア実体験⑤</td></tr> <tr><td>8</td><td>ボランティア実体験⑥</td></tr> <tr><td>9</td><td>ボランティア実体験⑦</td></tr> <tr><td>10</td><td>ボランティア実体験⑧</td></tr> <tr><td>11</td><td>ボランティア実体験⑨</td></tr> <tr><td>12</td><td>ボランティア実体験⑩</td></tr> <tr><td>13</td><td>ボランティア実体験⑪</td></tr> <tr><td>14</td><td>ボランティア実体験⑫</td></tr> <tr><td>15</td><td>ボランティアレポート</td></tr> </table>	1	ボランティアの基礎知識	2	自治体とボランティア	3	ボランティア実体験①	4	ボランティア実体験②	5	ボランティア実体験③	6	ボランティア実体験④	7	ボランティア実体験⑤	8	ボランティア実体験⑥	9	ボランティア実体験⑦	10	ボランティア実体験⑧	11	ボランティア実体験⑨	12	ボランティア実体験⑩	13	ボランティア実体験⑪	14	ボランティア実体験⑫	15	ボランティアレポート
1	ボランティアの基礎知識																														
2	自治体とボランティア																														
3	ボランティア実体験①																														
4	ボランティア実体験②																														
5	ボランティア実体験③																														
6	ボランティア実体験④																														
7	ボランティア実体験⑤																														
8	ボランティア実体験⑥																														
9	ボランティア実体験⑦																														
10	ボランティア実体験⑧																														
11	ボランティア実体験⑨																														
12	ボランティア実体験⑩																														
13	ボランティア実体験⑪																														
14	ボランティア実体験⑫																														
15	ボランティアレポート																														
成績評価方法 (試験実施方法)	授業・実習への参加姿勢、提出レポートの完成度などで評価																														
備考																															

授業概要(シラバス)

タイトル	内容																														
授業科目	公共ボランティア実習Ⅱ																														
実務家教員																															
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科																														
履修年次	2年次																														
開講学期	通年																														
科目区分	選択B																														
授業方法	実習																														
授業時間	30時間(1単位)																														
授業コマ数	15コマ																														
授業概要	ボランティアの基本的な在り方を学び、実習も踏まえて理解を深める																														
授業の進め方	座学を基に実際にボランティアを体験する																														
達成目標	知識と実体験により、ボランティアの実情など基礎的な知識を身に付ける																														
教科書	なし																														
特記																															
授業計画	<table> <tr><td>1</td><td>ボランティアの基礎知識</td></tr> <tr><td>2</td><td>自治体とボランティア</td></tr> <tr><td>3</td><td>ボランティア実体験①</td></tr> <tr><td>4</td><td>ボランティア実体験②</td></tr> <tr><td>5</td><td>ボランティア実体験③</td></tr> <tr><td>6</td><td>ボランティア実体験④</td></tr> <tr><td>7</td><td>ボランティア実体験⑤</td></tr> <tr><td>8</td><td>ボランティア実体験⑥</td></tr> <tr><td>9</td><td>ボランティア実体験⑦</td></tr> <tr><td>10</td><td>ボランティア実体験⑧</td></tr> <tr><td>11</td><td>ボランティア実体験⑨</td></tr> <tr><td>12</td><td>ボランティア実体験⑩</td></tr> <tr><td>13</td><td>ボランティア実体験⑪</td></tr> <tr><td>14</td><td>ボランティア実体験⑫</td></tr> <tr><td>15</td><td>ボランティアレポート</td></tr> </table>	1	ボランティアの基礎知識	2	自治体とボランティア	3	ボランティア実体験①	4	ボランティア実体験②	5	ボランティア実体験③	6	ボランティア実体験④	7	ボランティア実体験⑤	8	ボランティア実体験⑥	9	ボランティア実体験⑦	10	ボランティア実体験⑧	11	ボランティア実体験⑨	12	ボランティア実体験⑩	13	ボランティア実体験⑪	14	ボランティア実体験⑫	15	ボランティアレポート
1	ボランティアの基礎知識																														
2	自治体とボランティア																														
3	ボランティア実体験①																														
4	ボランティア実体験②																														
5	ボランティア実体験③																														
6	ボランティア実体験④																														
7	ボランティア実体験⑤																														
8	ボランティア実体験⑥																														
9	ボランティア実体験⑦																														
10	ボランティア実体験⑧																														
11	ボランティア実体験⑨																														
12	ボランティア実体験⑩																														
13	ボランティア実体験⑪																														
14	ボランティア実体験⑫																														
15	ボランティアレポート																														
成績評価方法 (試験実施方法)	授業・実習への参加姿勢、授業内レポートの完成度などで評価																														
備考																															

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	法律研究
実務家教員	○
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	選択B
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ
授業概要	法律に関する講義を受け、研究および発表を通じて法律の考え方を学ぶ
授業の進め方	講義で与えられた課題について研究し、研究レポートを作成する
達成目標	法律の基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする
教科書	なし
特記	トゥモロー法律事務所松本知朗弁護士による弁護士としての実践的知識を基にした講義と実習
授業計画	1 法律概論 2 民法①（講義） 3 民法課題研究 4 民法②（講義） 5 民法課題研究 6 憲法①（講義） 7 憲法②（講義） 8 憲法課題研究 9 行政法①（講義） 10 行政法②（講義） 11 行政法課題研究 12 刑法①（講義） 13 刑法課題研究 14 刑法②（講義） 15 刑法課題研究
成績評価方法 (試験実施方法)	研究成果をまとめたレポートの内容で評価
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容																														
授業科目	行政研究																														
実務家教員	○																														
学部・学科	文化教養専門課程 スポーツ産業学科																														
履修年次	2 年次																														
開講学期	通年																														
科目区分	選択 B																														
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）																														
授業時間	3 0 時間（1 単位）																														
授業コマ数	1 5 コマ																														
授業概要	災害対策に関する講義を受け、研究・発表を通じて防災への理解を深める																														
授業の進め方	講義で与えられた課題をグループで研究し、プレゼンテーションを行う																														
達成目標	災害の基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする																														
教科書	なし																														
特記	防衛省職員による防災に関する実務経験を基にした講義と実習																														
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>災害対策の枠組み（講義）</td></tr> <tr><td>2</td><td>災害対策の実例（講義）</td></tr> <tr><td>3</td><td>課題研究 1</td></tr> <tr><td>4</td><td>課題研究 2</td></tr> <tr><td>5</td><td>課題研究 3</td></tr> <tr><td>6</td><td>課題研究 4</td></tr> <tr><td>7</td><td>課題研究 5</td></tr> <tr><td>8</td><td>課題研究 6</td></tr> <tr><td>9</td><td>研究発表シナリオ作成 1</td></tr> <tr><td>10</td><td>研究発表シナリオ作成 2</td></tr> <tr><td>11</td><td>研究発表準備 1</td></tr> <tr><td>12</td><td>研究発表準備 2</td></tr> <tr><td>13</td><td>研究発表プレゼンテーション</td></tr> <tr><td>14</td><td>研究発表プレゼンテーション</td></tr> <tr><td>15</td><td>プレゼンテーションのフィードバック講義</td></tr> </table>	1	災害対策の枠組み（講義）	2	災害対策の実例（講義）	3	課題研究 1	4	課題研究 2	5	課題研究 3	6	課題研究 4	7	課題研究 5	8	課題研究 6	9	研究発表シナリオ作成 1	10	研究発表シナリオ作成 2	11	研究発表準備 1	12	研究発表準備 2	13	研究発表プレゼンテーション	14	研究発表プレゼンテーション	15	プレゼンテーションのフィードバック講義
1	災害対策の枠組み（講義）																														
2	災害対策の実例（講義）																														
3	課題研究 1																														
4	課題研究 2																														
5	課題研究 3																														
6	課題研究 4																														
7	課題研究 5																														
8	課題研究 6																														
9	研究発表シナリオ作成 1																														
10	研究発表シナリオ作成 2																														
11	研究発表準備 1																														
12	研究発表準備 2																														
13	研究発表プレゼンテーション																														
14	研究発表プレゼンテーション																														
15	プレゼンテーションのフィードバック講義																														
成績評価方法 (試験実施方法)	研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評を基に評価																														
備考																															